

日本気象学会 2002年度秋季大会

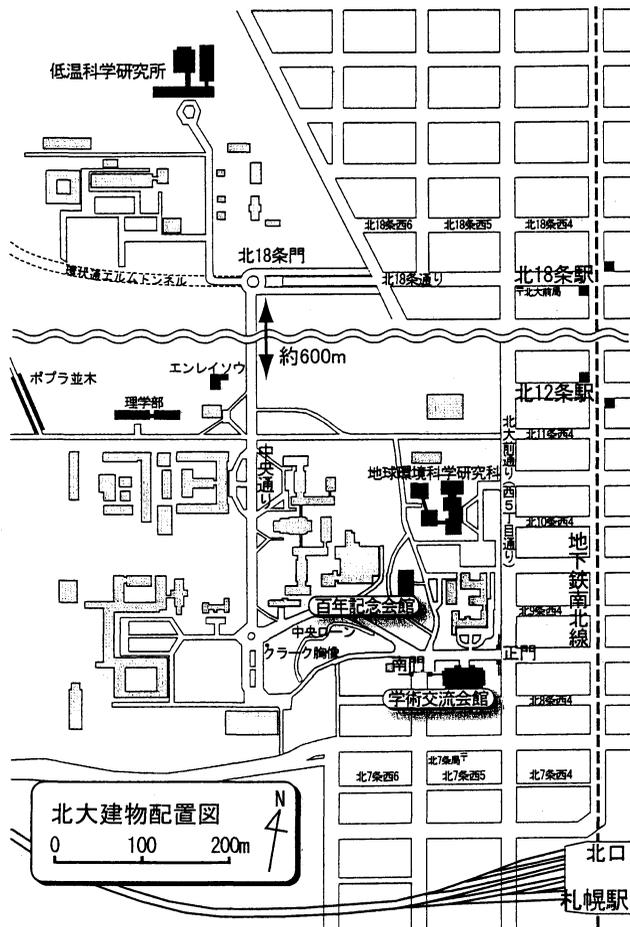
会期 : 2002年10月9日(水)～11日(金)
 会場 : 北海道大学学術交流会館・百年記念会館(札幌市北区北8条西5丁目)

大会実行委員会担当機関 : 札幌管区気象台, 北海道大学低温科学研究科,
 北海道大学大学院地球環境科学研究科, 北海道大学大学院理学研究科,
 (財)日本気象協会北海道支社, (株)札幌総合情報センター

大会実行委員長 : 大西晴夫(札幌管区気象台)

当日の会場への連絡方法 : 大会実行委員会事務局(北海道大学学術交流会館会館事務室)
 TEL:011-706-2141(大会実行委員会事務局直通)
 FAX:011-746-2715(北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻第2事務室。
 会場にはFAXはありません。宛先に「気象学会大会実行委員会事務局」に転送を希望する旨を明記して下さい)

会場案内



交通:

- (1) 新千歳空港から JR 札幌駅まで
 - JR : 快速エアポートが 15 分毎 (所要時間 36 分) 料金 1,040 円
 - バス : 新千歳空港ターミナルから JR 札幌駅まで (高速道路経由) 中央バス, 北都交通バスが飛行機到着の都度 (所要時間約 70 分) 料金 820 円
- (2) JR 札幌駅から会場(北海道大学学術交流会館, 百年記念会館)まで
 - 徒歩 5 分 (JR 札幌駅西改札口を出て右側の駅北口から)

大会行事予定

A会場 : 学術交流会館 講堂 (2階) シンポジウム・各賞授与式会場 : 学術交流会館・講堂 (2階)
 B会場 : 学術交流会館 小講堂 (1階) 受付 : 学術交流会館 1階ホール
 C会場 : 学術交流会館 第一会議室 (1階) 大会事務局 : 学術交流会館 第2会議室 (1階)
 D会場 : 百年記念会館 大会議室 (GF) 懇親会 : サッポロビール園
 ポスター会場 : 学術交流会館 1階ホール, 2階ホワイエ, (札幌市東区北7条東9丁目)
 第4.6会議室 (1階)

()は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月9日 (水)	09:30 ~ 12:00	気候システムⅠ (15, A101 ~ A115) -木村圭司-	物質循環Ⅰ (16, B101 ~ B116) -入江仁士-	降水システムⅠ (15, C101 ~ C115) -川野哲也-	中高緯度大気 (11, D101 ~ D111) -榎本 剛-
	13:00 ~ 16:30	気候システムⅡ (22, A151 ~ A172) -吉兼陸生- -鬼頭昭雄-	物質循環Ⅱ (23, B151 ~ B173) -笠井康子- -滝川雅之-	降水システムⅡ (22, C151 ~ C172) -中井専人-	中層大気 (7, D151 ~ D157) -村山泰啓- 環境気象 (9, D158 ~ D166) -山本 哲-
	16:40 ~ 18:00	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(32, P101 ~ P132) -平次尚彦- B会場(31, P133 ~ P163) -西森基貴-			
10月10日 (木)	09:15 ~ 12:00	気候システムⅢ (15, A201 ~ A215) -山根省三-	気象教育 (3, B201 ~ B203) -菊地信行- 放射 (9, B204 ~ B212) -菊地信行-	降水システムⅢ (7, C201 ~ C207) -柴垣佳明- 熱帯大気Ⅰ (9, C208 ~ C216) -山岬正紀-	観測手法 (11, D201 ~ D211) -小林隆久-
	13:00 ~ 13:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:40 ~ 14:00	第32期理事長学術講演「ベルリン現象から50年-突然昇温研究の現代的意義-」			
	14:00 ~ 15:20	山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:30 ~ 17:30	シンポジウム「環オホーツク研究の新しい視点」 司会: 山崎孝治 基調講演: 菊池俊彦, 大島慶一郎, 遊馬芳雄, 中村 尚			
	18:00 ~ 20:00	懇親会			
10月11日 (金)	09:15 ~ 11:00	気象予報 (11, A301 ~ A311) -佐藤芳昭-	黄砂Ⅰ (9, B301 ~ B309) -千葉 長-	熱帯大気Ⅱ (10, C301 ~ C310) -荻野慎也-	大気境界層 (8, D301 ~ D308) -吉崎正憲-
	11:10 ~ 12:30	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, A会場(32, P301 ~ P332) -楠 研一- B会場(31, P333 ~ P363) -永戸久喜-			
	13:30 ~ 17:00	気候システムⅣ (16, A351 ~ A366) -対馬洋子-	黄砂Ⅱ (18, B351 ~ B368) -杉本伸夫- -内山明博-	スペシャルセッション 「熱帯・亜熱帯の雲降水 システム-雲物理から 大規模擾乱まで-」 (18, C351 ~ C368) -児玉安正- -高藪 縁-	大気力学 (21, D351 ~ D371) -高谷康太郎-

発表件数: 431件 (口頭発表 305, ポスター 126)

口頭発表の講演・質疑時間: 7分と2分

大会参加費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 2,000円, 学生会員 1,000円;
当日受付の場合は 一般会員 3,000円, 学生会員 2,000円, 非会員 3,000円。懇親会費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 5,000円, 学生会員 4,500円;
当日払いの場合は 一般会員 5,500円, 学生会員 5,000円, 非会員 5,500円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いいたします。

なお郵便振替用紙は「天気」6月号の末尾に挿入されたものを使い, 9月27日までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会
(e-mail: org-msj@mri-jma.go.jp)まで。

講演の方法

口頭発表

口頭発表の一人当たりの発表時間は、全時間を申込件数で等分したものを目安として講演企画委員会が決定することになっています。今回については、**講演時間を7分・質疑時間を2分**といたしますのでよろしくお願ひします。

ポスター発表

- ・A または B 会場で概要紹介(1件 30秒以内)の後、ポスター会場で講演を行います。講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい
- ・ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、幅 0.9m×高さ 1.8m となっています。ポスターの掲示の際、**画紙・ピン・セロテープが使用可能**です。これらは**各自で用意**して下さい。
- ・ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。
 - －第1日の発表者は 10月9日 11:00～10月10日 12:30
 - －第3日の発表者は 10月10日 12:30～10月11日 16:00

機器の使用について

- ・全ての口頭発表会場(ポスター概要紹介を含む)で OHP が使用できます。
- ・OHP 以外の機器は、講演申込時に使用する旨を届けていた講演者のみが使用できます。
- ・PC プロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
 - －パソコンは各自で持参して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備し、パソコンは用意しません。
 - －接続の確認は休み時間などを利用して講演者の責任で行っておいてください。なお、接続に要する時間も講演時間に含まれますので、そのつもりで準備して置いてください
 - －突然の故障や接続ができないなどのトラブルが発生した場合も考慮して、最低限の発表が出来るだけの OHP シートも用意しておいてください。トラブルが生じて講演が不可能になった場合、実行委員会および講演企画委員会は一切の責任を負いません。

シンポジウム「環オホーツク研究の新しい視点」

日時：大会第2日(10月10日) 15:30～17:30

会場：北海道大学学術交流会館 講堂(2階)

司会：山崎孝治(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

趣旨

オホーツク海の流氷は、北半球で最も低緯度(南)に存在することは良く知られている。また、環オホーツク域は、地球温暖化の影響が最も顕著に表れる場所とも言われ、事実、オホーツク海沿岸の流氷量は確実に減少している。一方、オホーツクの海氷や、オホーツク高気圧は、北半球の気候や海洋循環にも大きな影響を及ぼしている。更に、爆弾低気圧や石狩湾小低気圧などの激しいメソ擾乱も発達する場所でもある。

このように、環オホーツク地域は、気象学的にも海洋学的にも極めて興味深い地域であるが、これまでは詳細な観測が不可能であった。しかし、最近オホーツク海域で、海洋を中心とした集中観測が行われ、新たな事実が見出されつつある。面白いことに、このような新たな観測事実が、かつて存在した環オホーツク文化とも密接に関連していることも分かってきた。

そこで、本シンポジウムを、環オホーツク研究を単なる高緯度地域の研究としてではなく、かつて存在した環オホーツク文化のように、オホーツク海周辺を研究の中心に据える、新たな視点を提供する機会としたい。

基調講演

- ・「考古学からみた環オホーツク海交易」 菊池俊彦 (北海道大学大学院文学研究科)
- ・「東樺太海流と海氷」 大島慶一郎 (北海道大学低温科学研究所)
- ・「オホーツク海周辺で急激に発達する低気圧と水蒸気輸送」 遊馬芳雄 (北海道大学大学院理学研究科)
- ・「オホーツクの冷たい海と大気循環変動」 中村 尚 (東京大学大学院理学系研究科)

総合討論

第 32 期理事長学術講演

日時：大会第 2 日(10 月 10 日) 13:40 ~ 14:00

会場：北海道大学学術交流会館 講堂(2 階)

講師：第 32 期理事長 廣田 勇

題目：「ベルリン現象から 50 年—突然昇温研究の現代的意義—」

要旨

今年(2002 年)はティスラン・ド・ボールの気球観測による成層圏の発見(1902)から丁度 100 年目に当り、さらに、シェルハークによるベルリン現象(成層圏突然昇温)の発見(1952)から 50 年という記念すべき節目の年でもある。本講演では、ベルリン現象発見から半世紀にわたる中層大気力学の進歩の足跡を辿り、突然昇温の研究に端を発した様々な新しい問題意識がどのように発展し現代に繋がっているかを概観してみることにする。すなわち、単なる一過性現象のメカニズム説明という枠組みを超え、非加速定理の真の含意の理解を通して、子午面循環や季節進行など背景平均場の因果論的解釈、さらには地球規模の物質循環の議論に見られる明確なパラダイム転換がもたらされてきたことの意義を再確認することである。

このような研究の歴史は、気象力学分野に限らず、ひろく気象学・大気科学の今後のあるべき姿を示唆するものと受け止めていただければ幸いである。

スペシャルセッション「熱帯・亜熱帯の雲降水システム —雲物理から大規模擾乱まで—」

日時：大会第 3 日(10 月 11 日) 13:30 ~ 17:00

会場：北海道大学学術交流会館 第一会議室(1 階, 大会 C 会場)

世話人：高薮 縁(東京大学気候システム研究センター)、児玉安正(弘前大学理工学部)、
沖 理子(宇宙開発事業団)、中澤哲夫(気象研究所)、高橋 劭(桜美林大学国際学部)

趣旨

熱帯・亜熱帯の雲降水システムの機構解明は、全球水循環の理解においても重要な位置を占める。そして過去の多くの研究が、大規模システムの理解のためにも雲物理レベルまでの理解が必要であることを指摘している。しかしながら、雲物理の観測・モデル研究や熱帯大規模擾乱の研究等の研究者間で、十分に知識の共有を行う機会が多くないのが現状である。近年、TRMM(熱帯降雨観測計画)やマイクロ波放射計等の衛星からの微物理量観測データが充実してきた。さらに TRMM の経験に基づき、降水システムを全球的かつ高密度に観測する GPM(全球降水計測)計画も進行中である。この環境を活用し、雲物理を扱う研究・TRMM データの解析研究・大規模降水システムの研究等広範囲の研究分野から、熱帯・亜熱帯マルチスケール雲降水システムの特性の解明という目標の下に研究成果を持ち寄り知見を交換することを目的とする。

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第 20 回メソ気象研究会

日時：2002 年 10 月 8 日(火) (大会前日) 14:00 ~ 17:00

場所：北海道大学百年記念会館大会議室(大会 D 会場)

テーマ：「新しい観測機器から観えてくるメソ気象」

世話人：吉崎正憲(気象研究所)、坪木和久(名古屋大学地球水循環研究センター)、小倉義光(東京大学海洋研究所)

コンビーナー：遊馬芳雄(北海道大学大学院理学研究科)、川島正行(北海道大学低温科学研究所)

内容：前回大宮での春季大会では、ウインドプロファイラーや GPS ネットワーク、新機能レーダー、衛星観測などの新しい観測機器の紹介が目を引きました。これらの新しい観測機器は特にメソスケール現象の解明に威力を発揮すると思うのですが、講演時間の制約のため、機器の紹介が中心であったような印象を受けました。今後、これらの最新観測機器を使って明らかになる観測事実はたくさんあると思いますが、その第 1 回目として、今回のメソ気象研究会を開催したいと思います。興味ある方の多数のご参加をお願いいたします。

※講演者・タイトルなどの詳細なプログラムは、<http://www1.neweb.ne.jp/wb/crest-mcs/MSJ/A2002meso.htm>に掲載します。

連絡先：遊馬芳雄(北海道大学大学院理学研究科)

TEL: 011-706-2763, FAX: 011-746-2715, Email: asuma@ep.sci.hokudai.ac.jp

オゾン研究連絡会

日時：2002年10月9日(水) 18:00 から2時間以内

場所：北海道大学大学院地球環境科学研究科C棟1階C104講義室を予定。変更の場合は学会会場に掲示します。

内容：「北極成層圏オゾンの最近の研究動向」をテーマに以下の方に講演をして頂く予定です。対流圏/成層圏の力学/化学/放射過程に興味を持つ方々のご参加をお願いします。

1. 第6回欧州オゾンシンポジウムの報告
 - a. 「研究対象の推移 一前回との比較一」 入江仁士(国立環境研究所)
 - b. 「キーとなるトピックについて」 寺尾有希夫(筑波大学)
2. 「極域オゾン破壊における観測とシミュレーションの不一致」 香川晶子(奈良女子大学)

世話人：笠井康子(通信総合研究所), 川上修司, 河本望(NASDA/EORC), 杉田孝史(国立環境研究所), 村田功(東北大学)

連絡先：村田 功(東北大)

TEL: 022-217-5776, FAX: 022-217-5775, E-mail: murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2002年10月11日(金) 17:15 ~ 19:00 頃

場所：北海道大学大学院地球環境科学研究科C棟1階C104講義室

話題：オホーツク海の海水と霧 一 大気・海洋・海水結合系の変動一

- | | |
|--|----------------------------|
| 「寒冷域の大気構造一境界層過程と自由大気」 | 木村龍治(東京大学海洋研究所) |
| 「観測によって解明されたオホーツク海高気圧下層の霧の実体」 | 立花義裕(地球フロンティア/東海大学) |
| 「オホーツク海高気圧一河川流量一海水相互の関連と
北半球大気・海洋場との関係」 | 小木雅世(北海道大学大学院地球環境科学研究科) |
| 「オホーツク海の海水変動は何によって決まるか」 | 木村詞明(宇宙開発事業団 地球観測利用研究センター) |
| 「海水と大気境界層の熱交換過程」 | 猪上淳(北海道大学低温科学研究所/コロラド大学) |

今回は、学会シンポジウムとも連動して、オホーツク海に関する話題の特集です。オホーツクに関する国際共同観測プロジェクトをふまえての集大成でもあります。夏でも冷たいオホーツク海は、海水や霧の形成を通じて、大気循環とその変動に影響を及ぼします。一方、大気循環は、オホーツク海の循環やまたは海水、霧の形成に強く影響しています。さらに、こうした大気・海洋(海水)相互作用は各季節毎に特徴ある振る舞いを見せます。ここでは、最新の研究成果をもとに、このような冷たい海特有の結合系をなすオホーツク海域のプロセスについて、理解を深めたいと思います。

代表：木村龍治(東京大学海洋研究所)

世話人：平沢尚彦(国立極地研究所), 中村 尚(東京大学理学部), 浮田甚郎(米国航空宇宙局),
高田久美子(地球フロンティア研究システム), 阿部彩子(東京大学気候システム研究センター),
佐藤 薫(国立極地研究所), 本田明治(地球フロンティア研究システム),
齋藤冬樹(東京大学気候システム研究センター), 高谷康太郎(地球フロンティア研究システム)

問い合わせ先：高谷康太郎(地球フロンティア研究システム)

TEL: 045-778-5526 FAX: 045-778-5707 E-mail: takaya@jamstec.go.jp

第23回 IGBP/GAIM 研究会

日時：2002年10月12日(土) (大会翌日) 午前中

場所：北海道大学大学院地球環境科学研究科C棟1階C104講義室(札幌市北区北10条西5丁目)

気象学会メイン会場の学術交流会館から3~4分, 百年記念会館から2分

内容：招待講演および一般講演

世話人：末田達彦(愛媛大学農学部), 馬淵和雄(気象研究所環境・応用気象研究部)

※研究会のプログラムなど詳細については、気象学会会場に掲示予定。

春季大会の予告

2003年度春季大会は、2003年5月21日(水)~24日(土)につくば国際会議場で開催されます。大会告示は「天気」12月号に掲載されます。今大会からは、春季大会の日程が4日間に延長され、それに伴いポスター発表中心であった一般発表に秋季大会と同程度の時間の口頭発表が追加されます。また特定のテーマに基づく専門分科会についてもこれまでと同様に開催される予定です。発表方法は講演申込時に選択できるようにしますが、必ずしも希望通りにはならない可能性があります。春季大会の発表申し込み締め切りは2003年2月上旬頃となる予定です。

大会第1日〔10月9日〕 A会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

気候システム I

座長：木村圭司(都立大理)

- A101 菅野洋光・佐々木華織(東北農研センター)他5名
山形県庄内地方に発生する局地風清川ダシの現地
気象観測(1)ー清川ダシの吹走範囲と日変化ー
- A102 佐々木華織・菅野洋光(東北農研センター)他5名
山形県庄内地方に発生する局地風清川ダシの現地
気象観測(2)ーパイバル観測による清川ダシの鉛直
構造ー
- A103 栗原和夫(気象研) 夏季における北日本の気温の6
年周期変動と北西太平洋の海面水温
- A104 井上誠(日大院地球情報) 日本における早魃と冷夏
の発現特性ー南西諸島と北日本を中心としてー
- A105 棚宣田真慈・山崎孝治(北大院地球環境) 北海道の
初夏の天候の長期変動
- A106 桑形恒男(農環研)・村井麻理(東北農研センター)他
1名 根圏温度が植生の吸水・蒸散プロセスにおよ
ぼす影響 [P]
- A107 木村圭司(都立大理)・早坂洋史(北大工) シベリア
で森林火災が多発する気候・気象条件
- A108 平田竜一・平野高司(北大院農)他3名 カラマツ林
におけるキャノピー上とトランクスペースの CO₂
フラックス
- A109 蒲生稔・前田高尚(産総研)他5名 熱帯林(熱帯多雨
林、熱帯季節林)における生態系純生産量の概算
- A110 栗田直幸(観測フロンティア)・吉田尚弘(東工大総
合理工)他1名 大陸水循環に対する降水の同位体
比の応答ー降水の同位体比から陸面過程情報を抜
き出すー [P]
- A111 河本和明・早坂忠裕(地球研)他1名 東アジア域に
おける雲変動の研究 [P]
- A112 石川由紀(愛教大) Zonal wind の変動に伴う局地豪
雨の気候学的解釈
- A113 大和田春樹(東大理) 夏季の黄土高原に降水をもた
らす天気場の事例的解析
- A114 寺尾徹(大阪学院大情報)・林泰一(京大防災研)他2
名 バングラデシュにおける夏季モンスーン対流活
動と上空の風に見られる日変化 [P]
- A115 林泰一(京大防災研)・寺尾徹(大阪学院大情報)他2
名 バングラデシュにおける地上気象要素の長期変
動について [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

気候システム II

座長：吉業隆生(地球フロンティア)

- A151 野津雅人・荻野慎也(神戸大自然)他3名 東南アジ
アにおける大気安定性の季節変化と風系との関係
- A152 荻野慎也(神戸大自然)・立花義裕(東海大総合教育)
他2名 乾期のインドシナ半島に現われる温度逆転
層の振る舞い:数日スケールの変動について
- A153 木口雅司・松本淳(東大院理) インドシナ半島にお
けるモンスーンオンセット前の対流活動

- A154 Taubid, Y.I.・Yamanaka, M.D.(観測フロンティア)
Seasonal variation of precipitable water and rainfall
over the Indonesian maritime continent
- A155 奥勇一郎・石川裕彦(京大防災研) チベット高原上
の地表面温度の年々変化
- A156 伍培明・佐々木太一(観測フロンティア)他3名 チ
ベット高原における可降水量の時間変化 [P]
- A157 佐々木太一・伍培明(観測フロンティア)他3名 ポ
スドモンスーン季のチベット高原上において、可降
水量が日没後に急増するのはなぜかー RAMS に
よる検証ー
- A158 杉本敦子(京大生態学研究センター)・沼口敦(北大
地球環境)他4名 チベット周辺地域におけるモン
スーン循環の変動と降水の同位体比から見た水蒸
気輸送 [P]
- A159 加藤美樹・高橋正明(東大気候システム) 秋雨期の
前線帯について [P]
- A160 吉業隆生(地球フロンティア)・木村富士男(地球フ
ロンティア/筑波大) 「梅雨前線」と「秋雨前線」
の気候的特徴に関する数値実験
- A161 馬淵和雄・佐藤康雄(気象研)他1名 地域気候モデ
ル(JSM-BAIM)を用いた数値実験ー 1997年及び
1998年の東アジアの気候ー
- A162 村崎万代・佐々木秀孝(気象研)他1名 地域気候モ
デルを用いた過去の気候再現実験 [P]

座長：鬼頭昭雄(気象研)

- A163 宮坂貴文・中村尚(東大院理) 冬季北半球の亜熱帯
高気圧と対流圏プラネタリー波
- A164 安中さやか・花輪公雄(東北大院理) 北半球海面水
温場に見出されたレジームシフトー熱帯太平洋と
の関係ー
- A165 川村隆一(富山大理)・有賀啓満(富山大院理工)他2
名 ENSO の位相反転と対流圏準二年振動について
[P]
- A166 Karumuri Ashok・Zhaoyong Guan(IGCR)他1名
The Interaction Between the ENSO and the Indian
Ocean Dipole Events:Impact on the Indian Summer
Climate [P]
- A167 Zhaoyong Guan(IGCR)・Karumuri Ashok(Nanjing
Institute of Meteorology)他1名 Influence of the
Indian Ocean Dipole on the East Asian Summer
Climate
- A168 尾瀬智昭(気象研)・杉正人(気象庁気候情報) 気象
研気候モデルにおける熱帯降水量偏差と中高緯度
の応答(II)
- A169 富田智彦(熊本大理)・謝尚平(IPRC/ハワイ大)他1
名 冬季海面水温の長周期変動に及ぼす表層亜表層
強制の算定 [P]
- A170 鬼頭昭雄・村上茂教(気象研) 6,000年前の ENSO
のシミュレーション
- A171 坂根征宏・足立恭将(気象研)他2名 『砂漠拡大』
に対する気候モデルMRI/JMA98の応答
- A172 佐藤伸亮(D&I 情報システム)・岩嶋樹也(京大防災
研)他1名 大気中二酸化炭素濃度漸増モデル実験
における降水量極値の長期変動

大会第1日〔10月9日〕 B会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

物質循環 I

座長：入江仁士(環境研)

- B101 西田千春・長田和雄(名大院環境)他 5名 大気エアロゾル粒子の潮解・吸湿による粒径の変化
- B102 香川雅子(名大理)・石坂隆(名大地球水循環)他 1名 冬季日本海側におけるエアロゾル中の主要イオン及びセレンの挙動について
- B103 三浦二郎・太田幸雄(北大院工)他 2名 北海道東部太平洋沿岸におけるエアロゾルの季節変化
- B104 梶野瑞王・植田洋匡(京大防災研)他 2名 東アジアにおける水溶性エアロゾルの挙動
- B105 新村典子・三浦和彦(東京理科大)他 2名 海洋エアロゾルの形状と組成について [P]
- B106 兼保直樹・古賀聖治(産総研)他 2名 島嶼における大気エアロゾルの長距離輸送の観測 - 小笠原父島と八丈島での BC 測定結果の比較 -
- B107 三浦和彦・新村典子(東京理科大)他 2名 海洋大気エアロゾルの湿度特性 - OPC ゾンデの測定例 - [P]
- B108 長田和雄(名大院環境)・原圭一郎(極地研)他 3名 タンガロア・南極海航海における大気エアロゾル粒子の特徴・蓄積領域の粒径分布と気象条件
- B109 山崎淳・近藤豊(東大先端研)他 東アジア域における窒素酸化物と硝酸塩エアロゾル - TRACE-P 航空機観測より - [P]
- B110 傍島明(東北大院理)・岩瀬弘信(地球フロンティア)他 1名 NOAA/AVHRR を用いた東アジア海域におけるエアロゾル変動の長期解析
- B111 蒲生京佳・芝田由香里(奈良女大)他 1名 紫外域観測センサーを用いた対流圏エアロゾル観測手法の検討
- B112 Saiful Hamdi・T. Shibata(名大)他 4名 Subvisible Cirrus Clouds over Bandung(6.5°S 107.25°E), Indonesia, observed by Ramam Lidar"
- B113 齋藤尚子・林田佐智子(奈良女大理)他 1名 97年冬季南極で観測された極成層圏雲の特徴について
- B114 雨宮百合子・林田佐智子(奈良女大理)他 6名 1997年冬季ドームふじ上空で観測された極成層圏雲 [P]
- B115 Diana Daneva・Takeshi Shibata(名大)他 3名 Discrimination of the mixed state in PSCs by the means of combined lidar and OPC observations
- B116 入江仁士(環境研)・近藤豊(東大先端研)他 3名 冬季の極成層圏における固体粒子の核形成メカニズム [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

物質循環 II

座長：笠井康子(通総研)

- B151 忠鉢繁(気象研)・宮川幸治(高層気象台) 稚内におけるオゾン特別観測(第2報)
- B152 松見豊(名大STE研)・F.J. Comes(Frankfurt Univ.)他 5名 オゾンの光分解過程の大気化学モデル計算に対する推奨値
- B153 高橋けんし・松見豊(名大STE研)他 2名 成層圏オゾンの光化学:高感度レーザー分光法を用いた室内実験と一次元光化学モデルによる研究
- B154 笠井康子(通総研)・高橋千賀子(富士通 FIP)他 JEM/SMILES による成層圏大気微量成分の観測 [P]
- B155 江尻省・中島英彰(環境研)他 2名 キルナ FTIR スペクトルの SFIT2 による解析と ILAS から得た大気微量成分の高度分布の比較
- B156 中島英彰・入江仁士(環境研)他 2名 ILAS による ClONO₂ の観測 [P]
- B157 長浜智生・中根英昭(環境研) SEASCRAPE を用いたつくば FTIR データの解析による対流圏・成層圏微量分子の鉛直分布
- B158 寺尾有希夫(筑波大地球科学) ILAS と POAM データを用いた Satellite-Match 解析による北極成層圏オゾン減少の定量化[その2]
- B159 香川晶子・河瀬祥子(奈良女大理)他 1名 1997年冬/春季北極極渦内のオゾン破壊の進行状況 - 光化学ボックスモデルと流跡線を用いて - [P]
- B160 杉田孝史・中島英彰(環境研)他 1名 極域オゾン破壊に及ぼす成層圏脱硝過程の影響(2)
- B161 秋吉英治・杉田孝史(環境研)他 2名 NO_x サイクルとプラネタリー波による夏の高緯度下部成層圏の低オゾン域
- B162 北和之(茨城大理)・近藤豊(東大先端研)他 TRACE-P で観測された東アジア域春季の窒素酸化物の分布・発生源および化学変化 [P]
- B163 秋吉英治・周立波(環境研)他 1名 台湾近辺の12月と1月のオゾン全量の年々変動

座長：滝川雅之(地球フロンティア)

- B164 河原卓(東北大院理)・菅原敏(宮城教育大)他 6名 北極域における六フッ化硫黄(SF₆)濃度の空間分布
- B165 石島健太郎・中澤高清(東北大院理)他 2名 太平洋上における N₂O 濃度の時間的・空間的変動
- B166 石戸谷重之・青木周司(東北大院理)他 1名 仙台市青葉山及び日本上空の対流圏における酸素濃度の変動
- B167 三枝信子・山本晋(産総研)他 2名 冷温帯落葉広葉樹林における生態系純生産量の長期変動
- B168 村山昌平・田口彰一(産総研)他 1名 大気輸送過程が大気中 CO₂ 濃度の経年増加率の年々変動に及ぼす影響について
- B169 菅原敏(宮城教育大)・川村賢二(ベルン大 CEP)他 4名 フィルン空気の数値モデリング - 同位体に対する Thermal Diffusion の影響 -
- B170 中村憲司・近藤豊(東大先端研)他 TRACE-P 航空機観測における高感度二酸化窒素濃度測定
- B171 森野悠・近藤豊(東大先端研)他 東南アジア域におけるバイオマス燃焼の大気化学への影響評価
- B172 安永教明・木田秀次(京大理) 積雲対流による物質輸送に関する数値実験
- B173 滝川雅之(地球フロンティア)・須藤健悟(東大気候システム)他 2名 PEACE-A 観測期間中におけるヨーロッパ起源汚染気体の定量的評価

大会第1日〔10月9日〕 C会場

(〰)は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

降水システム I

座長：川野哲也(九大院理)

- C101 志村和紀(RIST)・高橋劭(桜美林大) 熱帯積乱雲降水セルの発達-3次元雲物理数値モデル
- C102 渡辺啓倫・川野哲也(九大院理) 九州地方における夏季積乱雲(熱雷)の出現・移動特性
- C103 園井康夫・宮崎健二(関西電力) 2000年7月4日における夏季雷の発生状況に関する報告(その3)
- C104 吉野純・石川裕彦(京大防災研)他1名 1999年9月24日に愛知県豊橋市を襲った竜巻の発生要因について
- C105 牛山朋来・城岡竜一(観測フロンティア)他1名 「みらい」MR00-K04 航海で観測されたITCZ降水システムの数値実験-降水システム間の相互作用について- [P]
- C106 藤部文昭・瀬古弘(気象研)他1名 関東平野における夏季高温日午後の降水分布と地上風系との関係
- C107 山本哲(気象研)・赤枝健治(気象庁観測部)他2名 釧路における霧の特別観測(KUMAF0X2002) [P]
- C108 中里真久・山本哲(気象研)他2名 シーロメータによる霧発生時の視程観測
- C109 吉崎正憲・林修吾(気象研)他 東シナ海・九州梅雨観測-2002(X-BAIU-02)の概況報告 [P]
- C110 加藤輝之(気象研)・佐藤芳昭(気象衛星センター)他 X-BAIU-01 期間中に観測された降雨の予想失敗例とその原因その2:下層水蒸気場の重要性 [P]
- C111 K.Krishna Reddy・Biao Geng(観測フロンティア)他2名 Lower atmospheric wind profiler for diagnosing the Meiyu/Baiu precipitating cloud systems in the downstream of the Yangtze River [P]
- C112 田上浩孝・新野宏(東大海洋研) 2001年梅雨期の大規模場の解析 [P]
- C113 坂本晃平・上田博(名大地域水循環) 梅雨期の東アジアにおける対流活動の地域特性(2)~梅雨前線の位置に対するクラウドクラスターの地域特性~ [P]
- C114 山田広幸・耿驥(観測フロンティア)他2名 2001年梅雨期の長江下流域で発生した雲クラスターの発生環境 [P]
- C115 耿驥・山田広幸(観測フロンティア)他4名 2002年長江下流域における梅雨期集中観測 [P]
- C154 渡辺明(福島大教育) 2001年1月8日の豪雪について [P]
- C155 村上正隆・折笠成宏(気象研)他5名 航空機による混合層および筋状対流雲の発達過程の観測 [P]
- C156 村上正隆(気象研)・加藤誠(国土環境)他5名 山岳性降雪雲の人工調節に関する数値実験(3) [P]
- C157 村上正隆(気象研)・吉田一全(国土環境)他5名 山岳性降雪雲に対する小規模シーディング実験(その3) [P]
- C158 村上正隆(気象研)・伍井稔(国土環境)他6名 シーダビリティの高い雲の出現頻度の年々変動 [P]
- C159 折笠成宏・村上正隆(気象研)他4名 山岳性と海上の対流性降雪雲の気象条件比較
- C160 橋研一・村上正隆(気象研)他7名 三国山脈周辺の高山岳性降雪雲の気流とエコー分布の観測-事例解析- [P]
- C161 橋研一(気象研)・岩波越(防災科研)他 2001年1月16日に観測されたバンド状降雪雲(2) -バンド内セルの構造- [P]
- C162 小林文明(防大地球科学)・WMO-01 観測グループ 2001年1月18日三国で観測された竜巻
- C163 小林文明・石渡宏臣(防大地球科学)他 2002年1月29日北陸沿岸を通過した渦状擾乱
- C164 永戸久喜・加藤輝之(気象研)他 2001年1月15日に東部北陸地方沿岸に大雪をもたらした降雪システムの構造 [P]
- C165 小林文明(防大地球科学)・川本温子(日本無線)他3名 ドップラーレーダーで観測される冬季雷雲の特徴(その2)-1999年~2000年一冬季間の統計解析-
- C166 M.Adhikari・Y.Ishizaki(名大地球水循環)他3名 Contribution of Anthropogenic Aerosol particles on Cloud Condensation Nuclei over the Sea near the Southwest Islands Area in Japan [P]
- C167 Md. Nazrul Islam(秋田県立大)・Toru Terao(大阪学院大)他4名 Occurrence of convective activity over land and water in south Asia
- C168 佐藤晃(大阪府教育センター)・梶川正弘(秋田大資源)他1名 フィンランド・ソダンキラでの降雪粒子・エアロゾルの観測
- C169 和田英子・橋口浩之(京大宙空電波)他3名 ミリ波ドップラーレーダーとMUレーダーによる巻雲と背景風の観測 [P]
- C170 竹見哲也(大阪大工)・Richard Rotunno(NCAR) 雲モデルにおける乱流パラメタリゼーションによる混合と人工粘性の効果について
- C171 山岸米二郎・志村和紀(RIST)他1名 対流雲の発達と雲微物理過程
- C172 石坂隆・風岡亮(名大地球水循環)他3名 CCNが雲の微細構造に及ぼす影響について [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

降水システム II

座長：中井専人(防災科研)

- C151 青梨和正・小司禎教(気象研)他6名 若狭湾特別観測の固体降水の構造と雲物理量の特異性 [P]
- C152 中井専人(防災科研) 冬期日本海岸の陸寄り風頻度 [P]
- C153 二宮洸三・西村照幸(地球フロンティア)他3名 大気候モデル T42L52 によるポーラーローのシミュレーション

大会第1日〔10月9日〕 D会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

中高緯度大気

座長：榎本 剛(地球フロンティア)

- D101 秋山祐佳里(お茶の水女大院) 熱帯海域 SST と亜熱帯高圧帯の関係について
- D102 大和田道雄(愛知教育大)・秋山祐佳里(お茶の水女大院) 北太平洋高気圧の張り出しと帯状流波動の関係について
- D103 鈴木真一(防災科研) 梅雨明けに対する熱帯の対流活動と中緯度偏西風波動の影響の比較 [P]
- D104 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) 盛夏期の北東アジアにおける力学モードとしてのオホーツク海高気圧の特性
- D105 深町知宏・中村尚(東大院理) オホーツク海高気圧の鉛直構造
- D106 高井博司(岩手県環境保健研究センター)・川村宏(東北大院理) マイクロ波散乱計データを用いたヤマセ時の海上風分布に関する研究(1) - アメダス地上気温と海上風の対応 -
- D107 小川寛子(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他 4 名 大気海洋観測から見積もられたオホーツク海高気圧下層の海霧層の熱収支
- D108 早崎将光・田中博(筑波大地球科学) 中央シベリア地域における気温急変現象前後の循環場変動
- D109 三瓶岳昭・中村尚(東大院理) 北太平洋冬季の亜熱帯ジェットコアによる総観規模擾乱のトラッピング
- D110 吉田駿・遊馬芳雄(北大院理) 北太平洋上の低気圧による水蒸気輸送 [P]
- D111 福原隆彰・石川裕彦(京大防災研) 2001年1月1日に急激に発達した温帯低気圧の発達過程

午後(13:00 ~ 16:30)

中層大気

座長：村山泰啓(通総研)

- D151 三好勉信(九大理) 成層圏突然昇温が中間圏上部・熱圏下部に及ぼす影響について
- D152 河本望(NASDA/EORC)・神沢博(環境研)他 1 名 ILAS データにもとづく下降速度の見積もり
- D153 内藤陽子・田口正和(京大院理)他 1 名 成層圏突然昇温現象への QBO の影響に関するパラメータ実験
- D154 川平浩二(福井県立大学術教養センター)・岩坂泰信(名大院環境)他 1 名 冬季西太平洋オゾン極小の季節内変化と OLR 変動との関連 - 2001/02 年冬季の例 -
- D155 河谷芳雄・高橋正明(東大気候システム)他 1 名 大気循環モデルに現れた梅雨前線帯に於ける重力波の解析 [P]
- D156 山森美穂(東大気候システム)・佐藤薫(極地研) 夏季南半球中緯度太平洋上の慣性重力波の特性 [P]

- D157 村山泰啓・久保田実(通総研)他 3 名 CRL 稚内 VHF レーダーの受信位相校正と今後のレーダー実験について

環境気象

座長：山本 哲(気象研)

- D158 我妻ゆき子(ICDDR,B)・林泰一(京大防災研)他 3 名 バングラデシュにおける伝染病発生パターンと地上気象要素の季節変化との関係 [P]
- D159 下羽利明・村尾直人(北大)他 2 名 アラスカにおける有害大気汚染物質の測定
- D160 坪田幸政(慶応義塾高)・川嶋弘尚(慶応義塾大) 首都高速道路における大気汚染物質の移動観測 [P]
- D161 佐々木佳明・菊地勝弘(秋田県立大生物資源)他 4 名 光走査型化学顕微鏡を用いた樹種による酸中和能の測定・実験
- D162 金子和真(気象予報士第 3212 号) 苫小牧沖上位層気候の観測および発生状況報告
- D163 山本哲・佐々木秀孝(気象研)他 6 名 高解像度数値気象モデルに基づく 1977 年有珠山噴火降灰シミュレーション [P]
- D164 岡田拓也(筑波大環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学)他 4 名 三宅島の噴煙がつくばの降水成分に与える影響
- D165 吉田保徳・佐竹晋輔(九大院総合理工)他 3 名 ラグランジェ粒子モデル(RAMS/HYPACT)を用いた三宅島・桜島起源の SO₂ 輸送拡散シミュレーション
- D166 升井幸男・小池真(東大院理)他 東アジア域より排出される硫酸化物・窒素酸化物の輸送効率の定量評価 - TRACE-P 航空機観測 - [P]

ポスターセッション [10月9日] 16:40 ~ 18:00

(~~~~は講演者を表す。講演者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：A会場

- P101 真木雅之・岩波越(防災科研)他 6名 2台のドップラーレーダ観測から求められた台風0115の中心付近の運動学的特徴
- P102 山田丸・岩坂泰信(名大)他 9名 敦煌上空の鉱物粒子表面の化学組成～気球によるエアロゾル粒子の直接サンプリング～
- P103 高谷義正・中里真久(気象研) Bistatic Radar における速度の観測誤差評価 その5 複数の受信機を用いた場合
- P104 小司禎教(気象研) GPS 気象学:Niell マッピング関数の箇野ゾンデデータによる検証
- P105 石井員憲・水谷耕平(通総研)他 4名 航空機搭載を目的としたコヒーレントドップラーライダーの開発(3)
- P106 中里真久・永井智広(気象研)他 4名 ラマンチャンネルを装備したライダーのオゾン測定精度の検証
- P107 Richard E. Passarelli(Sigmec Inc.)・SIGMET JAPAN 他2名 プライットバンド・反射強度プロファイルを用いた気象レーダー用降水観測ソフトウェア
- P108 村地哲徳(東大理)・今村剛(宇宙研)他 2名 統計的推測手法を用いた惑星雲移動ベクトルの誤差評価法
- P109 門崎学(総合研究大学院大)・山内恭(総合研究大学院大/極地研)他 1名 南極域の海水密度と NOAA 赤外2チャンネル間の輝度温度差
- P110 今岡啓治・可知美佐子(NASDA/EORC)他 改良型高性能マイクロ波放射計(AMSR-E)の初期データ評価
- P111 R.M.Worthington・山本衛(京大宙空電波)他 1名 Volume-imaging of small-scale dynamics in rain clouds using the MU radar
- P112 石元裕史・山本哲(気象研)他 1名 後方散乱光の画像を用いた霧の視程情報抽出
- P113 竹内慶高(筑波大環境科学)・岡村修(筑波大地球科学)他 1名 可降水量でとらえた中部山岳風下に形成される収束線
- P114 高石知治(筑波大環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学) 夏期の関東地方における高温域の出現特性について
- P115 藤田実季子(筑波大環境科学)・木村富士男(筑波大) 乾季タイの可降水量の日変化
- P116 太竹秀明(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研)他 1名 北海道西岸沖に発生する筋状降雪雲の発生における風上地形の影響について
- 司会：平沢尚彦(極地研)
- P117 山本勝・山本愛(和歌山大教育) 薄い板の落下の2次元モデル-板状雪結晶落下現象への適用-
- P118 福島広和(東北大院理) 冬型時における東北地方の降水分布
- P119 山根悠介(京大院理)・林泰一(京大防災研) 熊本市で発生した強風災害(1997)について
- P120 工藤玲(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研)他 2001年長江下流域梅雨集中観測においてみられた2種類の停滞性降水エコー
- P121 荒木孝輔・柴垣佳明(大阪電通大)他 ウインドプロファイラー観測に基づいた梅雨前線近傍の風速変化と降水システムの特徴
- P122 原政之・木村富士男(筑波大地球科学) 夏期のチベット高原上における降水の日変化について
- P123 橋本大輔(筑波大生命環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学) 2000年9月11日～12日に発生した東海豪雨の解析-平野部で豪雨となった要因についての考察-
- P124 手柴充博(京大宙空電波)・柴垣佳明(大阪電通大)他 メソスケール低気圧に伴う線状降水帯の内部構造
- P125 岩崎杉紀(観測フロンティア)・花土弘(通総研)他 4名 95GHz レーダと14GHz レーダによる雨滴粒径分布の導出-粒径分布関数と融解層の考察-
- P126 西垣語人(気象庁数値予報) フラクタル次元を考慮したエントレイメント安定指数 ESI による発雷予測の検証-対流雲の側面のデトレイメントおよび蒸発過程を考慮した積雲対流のパラメタリゼーションの模索-2-
- P127 岡村修(筑波大地球科学)・木村富士男(筑波大) 中部山岳を越える寒冷前線に伴う降水分布の変化と水蒸気変動
- P128 梅本素子(神戸大自然)・手柴充博(京大宙空電波)他 X-BAIU-02 期間中に観測された二本の甌島ラインの特徴
- P129 三輪剛史(筑波大生命環境科学)・安成哲三(筑波大地球科学) チベット高原起源の擾乱が梅雨前線活動に及ぼす影響-98年 GAME-IOP における解析-
- P130 植松明久・橋口浩之(京大宙空電波)他 ミリ波ドップラーレーダー・ドップラーソーダーによる釧路における霧・霧雨の同時観測
- P131 青柳祐二(東京学芸大)・花土弘(通総研)他 1名 TRMM 降雨レーダ(PR)と可視赤外観測装置(VIRS)による降水を伴う対流雲の発達段階の推定
- P132 深尾一仁・大澤輝夫(岐阜大院工)他 1名 2002年1月に東海地方に大雪をもたらした降雪システムについて

ポスターセッション [10月9日] 16:40 ~ 18:00

(は講演者を表す。講演者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：B会場

- P133 青木功・長田良一(筑波大環境科学)他2名 タクラマカン砂漠における砂塵嵐発生時の気象場の解析
- P134 藤田慎一(電中研)・桜井達也(東京理科大)他1名 硫黄化合物の乾性・湿性沈着に及ぼす三宅島の噴火の影響
- P135 太平智章(東京理科大)・藤田慎一(電力中央研究所) 東アジアにおける主要な化学成分の乾性沈着量の推定
- P136 山本さき・田平誠(愛知教育大学)他1名 新幹線車両のトンネル突入に伴って発生する微気圧波とその伝播
- P137 萩原典子(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他6名 オホーツク海高気圧発生時の海霧下での海面熱フラックスー直接観測・数値予報モデル・客観解析データ相互の比較ー
- P138 中野渡拓也(北大院理)・見延庄士郎(地球フロンティア/北大院理) 降水量の20年変動の季節依存性
- P139 荒川理(気象研/科技园)・鬼頭昭雄(気象研) AMIPタイプAGCMによる気候の再現性に関する数値実験(その1)ー対流活動と海面水温の関係ー
- P140 阿部学(筑波大地球科学)・鬼頭昭雄(気象研)他1名 チベット高原/ロッキー山脈の存在が北半球亜熱帯高気圧へ与える影響
- P141 本谷研・増田耕一(地球フロンティア) 他2名 グローバルな水収支は降水量計捕捉率補正を考慮した場合どう変わるか
- P142 坂元尚美(神戸大自然)・角谷岳彦(京大博物館) 分野横断型データベースの構築とその気候変動解析への応用への試み
- P143 一柳鏡平(観測フロンティア)・山中大学(観測フロンティア/神戸大) バンコクにおける降水の安定同位体組成と ENSO との応答
- P144 野村茂行(筑波大環境科学)・安成哲三(筑波大地球科学) 夏季チベット高原における対流活動(GAMEーTibet IOP'98のドップラーレーダーによる解析)ー高原上の日変化の季節推移についてー
- P145 篠田太郎・川畑玲(名大地球水循環)他2名 梅雨前線帯への水蒸気供給源としての中国大陸上の陸面の役割
- P146 高橋信人(北大院理) 夏季モンスーン季における日本付近の前線傾度の季節推移と下層循環場の季節内変動について
- P147 中田淳子・高橋憲義(京大理)他1名 海洋熱塩循環の多重解に関する研究

司会：西森基貴(農環研)

- P148 大石徹也(日大院地球情報数理)・山川修治(日大文理) 太陽黒点数の盛衰と対流圏・成層圏の気圧系ーII.冬季における特徴的現象ー
- P149 佐々木秀孝・佐藤康雄(気象研) アンサンブル手法を用いたMRI地域気候モデルのSST分解能による感度実験
- P150 豊田威信・馬場賢治(北大低温研)他2名 オホーツク海南部海水域の大気混濁係数について
- P151 小倉知夫・阿部彩子(東大気候システム)他1名 海氷力学過程が海水分布に及ぼす影響に関する感度実験
- P152 石井和子(気象予報士会) 源氏物語と気象
- P153 山岸孝輝・阿部彩子(東大気候システム)他2名 大気循環モデルによる氷期北半球水分布に関する考察
- P154 佐藤友徳(科学技術振興事業団)・木村富士男(筑波大地球科学) 北東アジアにおける乾燥気候の形成と山岳による影響(数値実験)
- P155 小澤晃(筑波大環境科学)・安成哲三(筑波大地球科学) 中央アジアアラル海流域における水収支の季節変化と年々変動
- P156 久保田拓志(京大院理)・寺尾徹(大阪学院大情報)他1名 熱帯対流圏気温偏差の季節依存に関する気候シフト前後の違いについて
- P157 田畑強(日大院地球情報) 日本列島における雷発生数の地域区分と年々変動
- P158 大島和裕・山崎孝治(北大院地球環境) 水蒸気輸送の鉛直構造について
- P159 鈴木博人・島村誠(東日本旅客鉄道) 日本における2,5,10,30,100年確率雨量を超過する大雨の経年変化
- P160 櫻田爽・鼎信次郎(東大生産研)他2名 東京における1890年～の時間降水量特性の変化とその季節及び時刻依存性
- P161 恵恩貞・M.Kimoto(東大気候システム) Extratropical Teleconnections related to El Nino Summer
- P162 高原宏明・松本淳(東大理) 東アジアにおける前線活動の季節変化
- P163 李相勲(日大院地球情報) 韓国の冬季降水量に基づく地域区分ークラスター分析による解析ー

大会第2日〔10月10日〕 09:15～12:00

(〰は講演者を表す. [P]=プロジェクター使用予定)

A 会場

気候システムⅢ

座長：山根省三(地球フロンティア)

- A201 仲田久和・中澤高清(東北大院理)他3名 ドームふじ深層氷床コアを用いた過去の大気中二酸化炭素濃度の変動とその解釈
- A202 平沢尚彦(極地研)・林政彦(福岡大理)他1名 南極内陸ドームふじ基地における気温逆転層の季節変化
- A203 金子秀毅・片山恭男(気象庁海洋気象)他1名 地球の海水域面積の長期変動について [P]
- A204 山根省三・本田明治(地球フロンティア)他2名 アリュージェン・アイスランド低気圧の経年変動の内部・外部分散について
- A205 本田明治(地球フロンティア/コロンビア大)・山根省三(地球フロンティア)他1名 アリュージェン低気圧-アイスランド低気圧シーソーの地上天候への影響とその予測可能性
- A206 山本健太郎(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他3名 北半球海水東西シーソーに対する大気場の応答実験
- A207 田中博(地球フロンティア/筑波大地球科学) 大気の順圧成分に対する外力の特徴と EOF 解析 -北極振動との関連について-
- A208 長谷川聡・田中博(筑波大地球科学) 正規直交ウェーブレットを用いた局所スペクトルエネルギー解析による北半球高緯度の帯状平均成分と波の成分の相互作用 [P]
- A209 黒田友二(気象研) 対流圏成層圏結合のモデルでの再現性-気象研究所大気モデルの解析-
- A210 三村和男(東海大教養) 過去50年間にわたる冬期北半球大気圏の年々変動 [P]
- A211 小木雅世(北大院地球環境)・山崎孝治(北大院地球環境/地球フロンティア) オホーツク海高気圧とバレンツ海の海洋変動との関係
- A212 渡部洋平(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他2名 オホーツク海高気圧の年々変動と北太平洋・シベリア大陸間の温度傾度との強い関連性
- A213 木村詞明(NASDA/EORC) オホーツク海の海水面積の年々変動-2000/01年の多氷は何によってもたらされたか-
- A214 板野登久・内藤玄一(防大地球科学)他2名 海氷で可視化されたオホーツク海の高気圧性海洋渦 [P]
- A215 猿上淳(北大低温研)・Branko Kosovic(Lawrence Livermore National Laboratory)他1名 北極層雲の発生時における大気境界層の特徴

B 会場

気象教育

座長：菊地信行(地球研)

- B201 鈴木宏宣(札幌市立札幌小)・高橋康哉(北教大附属教育実践総合センター)他2名 「ひまわり」年間画像 CD-ROM 教材の制作-各地の天気・天気図の重ね合わせ表示- [P]
- B202 高橋康哉(北教大附属教育実践総合センター)・新保元康(北教大附属札幌小)他 総合学習をサポートするホームページ『雪たんけん館』の制作(Ⅱ)
- B203 佐藤晃・小林英輔(大阪府教育センター)他2名 「情報」教育としての気象教育(地学教育)

放射

座長：菊地信行(地球研)

- B204 加藤潤・太田幸雄(北大院工)他2名 大気エアロゾルの屈折率の測定 [P]
- B205 西澤智明・岡本創(東北大院理)他3名 2波長ライダーデータを用いたエアロゾル導出アルゴリズムの開発 [P]
- B206 佐藤慎一郎・岡本創(東北大院理) ライダによる雲観測における多重散乱の寄与-Backward Monte Carlo法による解析 [P]
- B207 岡本創・西沢智明(東北大院理)他8名 「みらい」MR01-K02 航海における雲レーダ・ライダー同時観測Ⅱ [P]
- B208 菊地信行(地球研)・石田春磨(東北大大気海洋変動研究センター)他2名 三波長雲分光放射計を用いた雲物理量と雲不均質性の推定
- B209 久芳奈遠美・岩淵弘信(地球フロンティア)他1名 層雲の光学的性質と雲粒子密度のパラメタリゼーションおよびCCN数密度のリトリーバル手法 [P]
- B210 真野裕三(気象研) 巻雲の赤外リモートセンシングのためのチャンネル選択
- B211 真野裕三・増田一彦(気象研)他1名 次世代サウンダー用の高速放射モデルの開発について
- B212 中島孝・村上浩(NASDA/EORC)他4名 放射伝達計算を用いた疑似GLI観測データの作成(その2) [P]

大会第2日 [10月10日] 09:15 ~ 12:00

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

C 会場

D 会場

降水システムⅢ

座長：柴垣佳明(大阪電通大)

- C201 高橋清利・山崎信雄(気象研) GAME 再解析 ver1.5、ver1.1 と地点観測 data との比較 [P]
- C202 山崎信雄・高橋清利(気象研)他 2 名 GAME 再解析 ver1.5 の降水量と GPCP,GANAL,NCEP との比較 [P]
- C203 S.K.Dhara・M.Takahashi(東大気候システム)他 3 名 A Gravity wave generation in the lower stratosphere due to passage of the typhoon 9426 (Orchid) observed by the MU radar at Shigaraki (34.85°N 136.10° E)
- C204 平野映良・高橋正明(東大気候システム)他 1 名 クラウドクラスターの西進構造に関するメカニズム
- C205 柴垣佳明(大阪電通大)・二宮洗三(地球フロンティア) メソスケール対流システムの evolution とその内部構造 [P]
- C206 瀬古弘・小司禎教(気象研)他 2 名 「GPS 稠密観測網」で観測した 2001 年 8 月 1 日の雷雨に伴う水蒸気変動[P]
- C207 井上豊志郎(気象研) Characteristics of deep convection over the Amazonia during LBA using GOES and PR/TRMM data

熱帯大気 I

座長：山脚正紀(地球フロンティア)

- C208 星野俊介・中澤哲夫(気象研) QuikSCAT による海上風の精度の検証
- C209 漬木亜矢子・高藪縁(東大気候システム) 西風バースト発生と MJO との関係
- C210 大野裕二・亀井秋秀(通総研)他 3 名 海洋観測船「みらい」から雲レーダによって観測した熱帯海洋上の雲構造(2)
- C211 野村光春・坪木和久(名大地球水循環)他 1 名 台風のスパイラルバンドの形成における冷たい雨のプロセスの効果
- C212 坂本圭・高橋正明(東大気候システム) 1999 年 8 月・関東に接近した上層寒冷低気圧(UCL)の構造解析[その 2]- UCL 周辺域における熱帯擾乱・台風発生との関連性- [P]
- C213 村田昭彦・上野充(気象研) 積雲対流が台風のサイズに与える影響
- C214 北島尚子(気象研) 台風 0111 号の構造変化とそれに対する上部対流圏の流れの影響(2)
- C215 筆保弘徳・林泰一(京大防災研) 台風通過時に発生する Pressure dip を形成する気流構造 [P]
- C216 湯本道明・松浦知徳(防災科研) 20 世紀後半における台風年発生数の経年変動

観測手法

座長：小林隆久(気象研)

- D201 小池克征・深見親雄(河川情報センター)他 2 名 レーダ雨量計のための新しい合成・キャリブレーション方法の開発 [P]
- D202 小林隆久・足立アホロ(気象研)他 1 名 ミリ波レーダー、放射計、プロファイラーによる Drizzling Cloud の複合観測手法
- D203 C.B.Park・H.Nakane(NIES)他 7 名 Measurements of stratospheric ozone, aerosol and temperature vertical profiles during 1988-2001 over Tsukuba with NIES Lidar
- D204 久慈誠(奈良女大理)・内山明博(気象研) 近赤外リモートセンシングデータを用いた可降水量の推定手法 [P]
- D205 佐々木政幸(NASDA)・高山陽三(気象研)他 2 名 ADEOS-II/AMSR の検証観測
- D206 可知美佐子・今岡啓治(NASDA/EORC)他 Aqua 衛星搭載改良型高性能マイクロ波放射計(AMSR-E)による初期成果 [P]
- D207 広田知良・岩田幸良(北海道農研)他 2 名 積雪・土壌凍結地帯向けの気象・水文自動観測システムの構築
- D208 遠藤菊郎・小野塚裕也(防大地球海洋)他 2 名 熱気球搭載センサーによる気温測定を試み II
- D209 鈴木教雄(航空宇宙技術研)・中瀬哲夫(気象研)他 1 名 国産無人気象観測機の開発 [P]
- D210 小野寺三朗・嶋末一(日本航空)他 2 名 横風進入着陸時の ACARS WIND の誤差
- D211 林宏典・佐々木律子(気象協会)他 1 名 年平均風速推定に対するサンプリングの影響評価

大会第3日〔10月11日〕 A会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

気象予報

座長：佐藤芳昭(気象衛星センター)

- A301 荒川隆(RIST) 並列カップラーによる計算例とその効率について [P]
- A302 Xindong Peng(地球シミュレータセンター)・Fang XIAO(東工大)他1名 Conservative Semi-Lagrangian Transport of Tracers in AFES
- A303 松村崇行(気象庁数値予報)・吉村裕正(気象研) 全球3次元セミ・ラグランジュモデルの開発 [P]
- A304 裏井あし・吉村裕正(気象研) セミインプリシット・セミラグランジアン高解像度全球格子モデルの検討
- A305 斎藤和雄(気象庁数値予報) NHM 時間積分における移流のスプリット
- A306 佐藤正樹(地球フロンティア/埼玉工大) 非静力学スプリット・エクスプリシットモデルでの質量保存と整合性のあるトレーサ保存スキーム
- A307 佐藤芳昭(気象衛星センター)・小泉耕(気象庁数値予報)他2名 メソ4次元変分法によるTMI降水量・可降水量同化実験 [P]
- A308 宮腰紀之(新千歳航空測候所) 数値予報GPVを用いた乱気流予測指数の検証
- A309 福井哲夫(京大)・田中博(筑波大地球科学) 火山灰追跡モデル(PUFF)における風の予報誤差の評価
- A310 原昌弘(気象研) 自動選択型SOMの分類数決定手法の改善
- A311 野原大輔(筑波大陸域環境研究センター)・田中博(筑波大地球科学) カルマンフィルターを用いたアンサンブル予報値の同化実験(2)
- A353 吉岡真由美・大淵濟(地球シミュレータセンター) 他3名 高解像度大気大循環モデルで表現される台風 [P]
- A354 野田彰(気象研)・山口和貴(東京電力)他2名 二酸化炭素倍増に伴う気候系の過渡的応答
- A355 谷貝勇・松丸圭一(気象研) 気象庁の全球モデルで積雲対流と雲に関する問題点とその解決法について
- A356 江守正多・西村照幸(地球フロンティア)他 地球温暖化実験のための高解像度大気海洋結合モデルの開発 [P]
- A357 富田浩文・佐藤正樹(地球フロンティア)他1名 正二十面体格子を用いた次世代全球非静力学コアの開発(3) [P]
- A358 小林あき・高野清治(気象研)他1名 季節予報予測可能性実験 SMIP2 [P]
- A359 對馬洋子(地球フロンティア)・阿部彩子(地球フロンティア/東大気候システム)他1名 全球平均気温の年変動における放射フィードバックの見積もり
- A360 望月崇・木田秀次(京大院理) 北太平洋十年規模変動の海面水温偏差の季節サイクルに関わる物理過程
- A361 石井正好・小司昴子(気象庁)他3名 海面水温ならびに海上気象要素の客観解析データベース(2) [P]
- A362 川合義美・川村宏(東北大大気海洋センター) 日変化を考慮したGODAE高分解能海面水温(GHRSSST)プロダクト [P]
- A363 石井正好・坂元賢治(気象庁)他1名 気候の監視と予測のための海洋データ同化(4) [P]
- A364 松村伸治(地球フロンティア)・山崎孝治(北大院地球環境/地球フロンティア) 1993年7月の季節再現実験
- A365 酒井孝太郎(地球フロンティア) 長期積分を要する古気候研究のための大気・海洋・氷床結合モデル
- A366 村上茂教・鬼頭昭雄(気象研) 結合モデルによる古気候実験と氷期の熱塩循環

午後(13:30 ~ 17:00)

気候システムⅣ

座長：對馬洋子(地球フロンティア)

- A351 榎本剛(地球フロンティア)・淵上弘光(NEC 情報システムズ)他2名 Emanuel 積雲スキームを用いたAFESによる北半球夏季大循環の再現性 [P]
- A352 大淵濟(地球シミュレータセンター)・西村照幸(地球フロンティア/地球変動研究所)他1名 AFES(AGCM for Earth Simulator)の積雲対流パラメタリゼーションと解像度に対する感度Ⅱ [P]

大会第3日〔10月11日〕 B会場

()は講演者を表す. [P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

黄砂 I

座長: 千葉 長(気象研)

- B301 篠田雅人(都立大理)・恒川篤史(東大農)他 3名 アジアの新しい砂漠化地図と陸域気候学への利用
- B302 吉野正敏(国連大学/国土環境)・山本享(国土環境)他 3名 アジアにおける近年のダストストーム・黄砂発生回数変化の実態と植生指数の変化, 総観場の変化について [P]
- B303 杉本伸夫・松井一郎(環境研)他 4名 偏光ライダー連続観測が捉えた黄砂の年々変動 [P]
- B304 青木一真(富山大教育)・荒生公雄(長崎大環境) Sky radiometer 観測による 1996年~2002年の黄砂の光学的特性
- B305 黒崎泰典・三上正男(気象研) 東アジア域のダスト発生頻度と地表面風速の関係 [P]
- B306 原由香里・佐竹晋輔(九大院総合理工)他 2名 春季東アジア域における土壌性粒子の発生、輸送過程の年々変動解析
- B307 田中泰寅・折戸光太郎(気象研)他 2名 ADEC 集中観測期間中の化学輸送モデル MASINGAR によるシミュレーションと現地観測結果の比較 [P]
- B308 清野直子・千葉長(気象研)他 2名 タリム盆地付近のダストストームと局地循環
- B309 Q. Zifa Wang・Itsushi Uno(地球フロンティア)他 3名 Modeling Mixing Aerosols of Soil Dust, Sea-Salt, Black-Carbon and Sulfate over East Asia [P]

午後(13:30 ~ 17:00)

黄砂 II

座長: 杉本伸夫(環境研)

- B351 三上正男(気象研)・山田豊(理化学研)他 3名 砂漠砂漠上の風送ダスト舞い上がり臨界風速 [P]
- B352 石塚正秀(和歌山大)・三上正男(気象研)他 3名 ADEC IOP-1におけるタリム盆地の砂砂漠と砂漠砂漠の土壌水分特性 [P]
- B353 甲斐震次・中山弘康(名大環境)他 6名 タクラマカン砂漠上空におけるエアロゾル層の構造とダストストーム-2002年春季集中観測-
- B354 安井元昭(通総研)・周紀侠(中国科学院)他 4名 中国、沙坡頭における対流圏エアロゾルのライダー観測
- B355 白石浩二・藤原玄夫(福岡大理)他 3名 2002年春季ライダーで観測された対流圏エアロゾルの光学的特性について

- B356 永井智広・中里真久(気象研)他 2名 那覇・つくばでの風送ダストのライダー観測 [P]

- B357 酒井哲(日本学術振興会/気象研)・永井智広(気象研)他 2名 ラマンライダーによるエアロゾル・氷雲の光学特性と水蒸気の同時観測

- B358 青柳曉典・竹内一男(気象庁環境気象)他 6名 大気環境観測所の現業用ライダーによる黄砂観測事例 [P]

座長: 内山明博(気象研)

- B359 山崎明宏・内山明博(気象研)他 2名 ADEC IOP1でのスカイラジオメーター観測

- B360 Kim Yoon-Suk・トロスキン ディミトリ(名大理)他 10名 アジア大陸の自由対流圏で観測されたエアロゾル:北京、敦煌におけるの OPC 観測

- B361 山下克也・林政彦(福岡大)他 4名 中国敦煌におけるエアロゾルの粒径分布の鉛直構造と変動

- B362 張代洲(熊本県立大環境共生)・岩坂泰信(名大院環境) 西日本で採集された黄砂粒子表面の塩素 [P]

- B363 水野祐介・藤田高士(名大環境)他 3名 2002年春季、名古屋で観測された黄砂の重量粒径分布について

- B364 坪沼寛行・河村公隆(北大低温研)他 2名 ACE-Asia 観測期間における済州島及び札幌エアロゾル中の全炭素、窒素濃度と安定同位体比の測定 [P]

- B365 小林実・河村公隆(北大低温研)他 2名 東アジア域における大気エアロゾル中の低分子ジカルボン酸などの季節変動:ACE-Asia 観測

- B366 持田隆宏・梅本延彦(北大低温研)他 3名 西部太平洋の海洋境界層内におけるエアロゾル中有機成分の粒径分布とエアロゾル光学特性の評価

- B367 石黒貴彦・太田幸雄(北大院工)他 2名 土壌粒子の光学的吸収率の測定 [P]

- B368 青木輝夫・三上正男(気象研)他 1名 中国タクラマカン砂漠起源のダスト光学モデル

大会第3日〔10月11日〕 C会場

(〰は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

熱帯大気Ⅱ

座長：萩野慎也(神戸大自然)

- C301 中島健介(九大理) 一般化した wave-CISK:線形論と数値モデリング [P]
- C302 中島健介(九大理)・石渡正樹(北大院地球環境)他 3名 熱帯大気の暖水域に対する応答-アンサンブル水惑星実験による時間発展の抽出- [P]
- C303 上野充(気象研) 鉛直シア実験で得られた渦移動と渦構造の関連(2)
- C304 森修一・濱田純一(観測フロンティア)他 5名 インドネシア・スマトラ島周辺における降水ピークの日周期海陸間移動について [P]
- C305 浜田純一・森修一(観測フロンティア)他 6名 インドネシアスマトラ島周辺の雨季における対流活動の季節内変化及び日変化
- C306 T.Harijaga(LAPAN/神戸大自然)・光田寧(故人)・元京大防災研)他 1名 Estimation of Indonesian Rainfall Using GMS-IR Data
- C307 西濃敏(京大理) 1998年6月ベンガル湾における上部対流圏鉛直流の微細構造 [P]
- C308 村田文絵・萩野慎也(神戸大自然)他 11名 インドネシアにおける対流性降水雲に関する研究(第9報)
- C309 山本真之・橋口浩之(京大宙空電波)他 4名 赤道大気レーダーで観測された熱帯対流圏界面直上のシア-不安定
- C310 親松昌幸・山本真之(京大宙空電波)他 5名 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏界面近傍のエコー観測 [P]
- C354 中澤哲夫・星野俊介(気象研) マイクロ波放射計からの台風強度推定 [P]
- C355 森修一(観測フロンティア)・佐藤晋介(通総研)他 3名 モンスーン降水系の理解に向けた TRMM 2A25 旬平均データセットの構築について [P]
- C356 青梨和正(気象研) TMI 輝度温度データの数値予報モデルへの変分法を用いた同化(その4) 一予報解析サイクルへのインパクト- [P]
- C357 重尚一(NASDA/EORC)・高藪縁(東大気候システム)他 2名 TRMM PR データからの潜熱加熱プロファイルのスペクトル推定:雲解像モデルによるアルゴリズム開発(2)
- C358 高藪縁(東大気候システム) 熱帯域の対流性・層状性降雨比と環境場との関係 [P]

座長：高藪 縁(東大気候システム)

- C359 二宮洸三(地球フロンティア)・柴垣佳明(大阪電通大) 亜熱帯降水帯としての梅雨前線の降水システム
- C360 加藤内蔵進・久安武志(岡山大教育) 梅雨前線上のメソ α 低気圧と総観場(1999年6月29日における西日本での事例の位置付け)
- C361 竹見哲也・平山修(大阪大工) 熱帯海域における対流雲の鉛直方向の発達について
- C362 勝俣昌己・米山邦夫(JAMSTEC) 「みらい」MR01-K05 航海で観測された MJO に伴う降水システムについて
- C363 米山邦夫・勝俣昌己(JAMSTEC) 2001年12月の MJO に伴う対流圏下層の湿度変動について
- C364 久保田尚之・城岡竜一(観測フロンティア)他 6名 MJO 活発期に観測された積雲対流活動と西風バーストの構造
- C365 住明正(東大気候システム)・沈学順(RIST) 非静力学モデルを用いた Super Cluster の東進機構に関する研究
- C366 里村雄彦(京大理) インドシナ半島の降水システムシミュレーション [P]
- C367 那須野智江(地球フロンティア)・加藤輝之(気象研) 放射対流平衡状態における雲の組織化- 3次元雲解像モデルによる数値実験-
- C368 山岬正紀(地球フロンティア) 熱帯域の対流系に対する環境風の効果の理解に向けて

午後(13:30 ~ 17:00)

スペシャルセッション 「熱帯・亜熱帯の雲降水システム
-雲物理から大規模擾乱まで-

座長：児玉安正(弘前大理工)

- C351 高橋 功(桜美林大) 東南アジアモンスーン雷活動と降水機構 [P]
- C352 児玉安正・山田琢哉(弘前大理工)他 2名 TRMM のマルチセンサー観測でみたメソ降水系-どのような雲物理的情報が得られるのか?-
- C353 漬水 収司・可知美佐子(NASDA)他 5名 TRMM 台風データセットの一般公開とその解析

大会第3日 [10月11日] D会場

()は講演者を表す。 [P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

大気境界層

座長：吉崎正憲(気象研)

- D301 太真修平・中西幹郎(防大) 3次元LESモデルを用いたROLL対流のアスペクト比を決める要因
- D302 猪上淳・川島正行(北大低温研)他2名 寒気吹き出し時の日本海上の乱流熱輸送とその構造
- D303 中川清隆(上越教育大自然)・神田学(東工大) キューボイド都市キャニオン構成面間ビューファクタの高精度推定(第2報)
- D304 宇野剛(日大院地理) ヒートアイランド強度算出に使われる気象観測点周辺の局地的温度分布
- D305 大橋唯太(産総研)・木田秀次(京大院理) 複数の都市で発達する局地循環と郊外の乾燥化現象の関係
- D306 工藤誠・余偉明(東北大院理)他1名 仙台平野の夏季海陸風循環に関する数値シミュレーション(2) [P]
- D307 三谷勉・伊藤久徳(九大院理) 北海道日高地方における風の特性
- D308 花房龍男(英弘精機) 地上風の代表性について

午後(13:30 ~ 17:00)

大気力学

座長：高谷康太郎(地球フロンティア)

- D351 伊賀啓太(九大応力研) 準地衡流乱流におけるコヒーレント渦領域のエンストロフィー [P]
- D352 北村祐二・松田佳久(東大理) 成層乱流におけるエネルギー輸送 [P]
- D353 藤原正智・山本真之(京大宙空電波)他3名 EARによる対流圏界面領域の観測:赤道ケルビン波による乱流生成
- D354 沢田雅洋・余偉明(東北大理) 重力流の数値実験 [P]
- D355 中尾哲弥・板野稔久(防大地球科学)他2名 特殊回転風洞を用いた竜巻状渦の性状に関する実験(第一報)
- D356 三村和男(東海大教養)・松島和宏(東海大工) 鉛直設置アナユラス型閉ループ内熱対流に関する数値実験-時間的空間的変動パターンの分類- [P]
- D357 高本征弘・松田佳久(東大理) 遠心力バランスした東西流の安定性(2)
- D358 尊根洋平・松田佳久(東大理) 加熱の鉛直分布の違いによる熱潮汐波の鉛直伝播の比較
- D359 中村貴純・田近英一(東大理) 火星における大規模気候変動-自転軸傾斜の影響- [P]
- D360 竹広真一(九大理)・John R. Lister(ケンブリッジ大) 回転球殻内の貫入対流と木星の平均帯状流生成 [P]
- D361 向川均(京大防災研)・中澤留威(北大院地球環境)他2名 北太平洋域でのブロッキング形成に対する大規模山岳の役割
- D362 荒井美紀(北大院地球環境)・向川均(京大防災研) ブロッキング現象の生成における低周波変動と総観規模擾乱の役割
- D363 伊藤久徳・松本英明(九大理) 傾圧波のない傾圧大気-「純粋な」低周波変動の振る舞い(その1)
- D364 今村剛(宇宙研) 赤道波の予午面循環への応答 [P]
- D365 高谷康太郎(地球フロンティア)・中村尚(東大理/地球フロンティア) シベリア高気圧の増幅過程における対流圏上層の循環と地表付近の傾圧性との相互作用
- D366 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) ユーラシア/北太平洋パターン~盛夏期の亜熱帯ジェット上に現れる定常ロスビー波列~
- D367 稲津将(北大院地球環境)・向川均(京大防災研)他1名 中緯度 SST 強制に対する定常波とストームトラック形成機構
- D368 小坂洋介・松田佳久(東大理) 亜熱帯高気圧におけるRossby波と重力波の役割 [P]
- D369 渡部雅造(北大地球環境) Walker循環のもとでのMJO-湿潤線型モデルによる考察- [P]
- D370 榎本剛(地球フロンティア) 小笠原高気圧の発達に伴う渦位偏差の上下結合 [P]
- D371 穂積祐・植田洋匡(京大防災研)他1名 大規模山岳による低気圧性渦の剝離

ポスターセッション [10月11日] 11:10 ~ 12:30

(~~~~は講演者を表す。講演者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：A会場

- P301 高木敏明・和田将一(東芝)他2名 雲解像モデルの開発とその並列計算(V)一名古屋大雪事例(2002年1月3日)の予報実験一
- P302 瀬古弘・川畑拓矢(気象研)他2名 ドップラーレーダの動径風を用いた同化実験(序報)
- P303 益子涉・室井ちあし(気象研)他2名 MRI/NPD-NHMを用いた2way多重移動格子モデルの開発(第一報)
- P304 川畑拓矢(気象研)・中村一(気象庁数値予報) 気象庁現業用領域解析システム(RANAL)による再解析実験(第4報)一変数変換による予報精度の悪化とその改善一
- P305 須藤美穂子(DWP/防災科研)・三隅良平(防災科研)他3名 概念モデルを用いた降水短時間予測(2)
- P306 平沢正信(気象研) 強雨域の検出・追跡ソフトの開発とその利用
- P307 平野高司(北大院農)・Tania June(IPB)他4名 インドネシアの熱帯泥炭林におけるCO₂フラックスの長期観測
- P308 伊藤昭彦(地球フロンティア) 生物圏モデルによる数値実験とその検証のための再解析気象データ利用
- P309 北村兼三・中井裕一郎(森林総研)他1名 北方系落葉広葉樹林における水利用効率の季節変化
- P310 肥塚清光・安田延壽(東北大院理) 陸面の熱収支・蒸発散量に及ぼす高度や地表面状態の影響
- P311 小林秀樹(東工大)・松永恒雄(環境研)他1名 カリマンタン島における ENSO に伴う降水量変化と植生指数 NDVI 及び煙害の関係
- P312 三浦優利子・石川裕彦(京大防災研) 北インド洋におけるサイクロンの性質に関する研究
- P313 仲長龍馬(東京商船大院)・村山利幸(東京商船大) シーロメーターによる雲底高度頻度分布の統計的解析
- P314 清原康友・荻野慎也(神戸大自然)他2名 六甲おろしに関する下部対流圏の観測(其ノ貳)
- P315 市瀬和義(富山大教育)・木下正博(滑川高)他2名 富山湾における蟹気楼の発生理由IV~暖気の形成過程~
- P316 山崎亮・菅原広史(防大地球科学)他3名 シーロメーターを用いた海洋境界層の航空機観測
- P317 菅原広史・内藤玄一(防大地球海洋)他1名 都市キャンピの幾何形状が地表面熱収支に与える影響

司会：楠 研一(気象研)

- P318 川原誠・菅原広史(防大地球海洋)他1名 都市キャンピオン上端での熱輸送効率の推定
- P319 通信・放送機構 成層圏プラットフォーム日立実験場における北東気流の予測
- P320 石田祐真・石石國男(弘前大理工) 鞍部地形における強風
- P321 木下宣幸(気象研)・堀晃浩(気象協会) 渦相関法を用いた水蒸気フラックスの風洞測定実験
- P322 長谷川就一(環境研)・太田幸雄(北大院工)他3名 クロージャー研究による大気エアロゾルの粒径分布・混合状態モデルの検討
- P323 木村俊義(NASDA)・中島映至(東大気候システム) 衛星搭載多波長センサを用いた赤外放射収支の評価(その2 衛星全天観測値からの雲微物理量・水蒸気と赤外放射収支量の推定)
- P324 上明戸優子(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他2名 乾季におけるタイの逆転層下層に滞留するエアロゾルが放射収支に与える影響
- P325 太朝由美子・近藤賀代子(NASDA/EORC)他5名 ADEOS/IMG データを用いた極域成層圏雲の研究
- P326 西川徹(東北大院)・円山重直(東北大流体研)他1名 三次元雲のモデル化とふく射エネルギー伝播
- P327 堀雅裕(NASDA/EORC)・青木輝夫(気象研)他11名 サロマ湖上積雪域における衛星同期光学・積雪物理量観測の概要
- P328 小田昌人・板野稔久(防大地球海洋)他2名 台風中心部における流れの安定性一非軸対称バランスモデルから準地衡流渦位方程式における不安定モードの変化一
- P329 武田重夫(気象研) Hill の球形渦類似の流れパターンによるシンプルな対流モデルの検討
- P330 川野圭子・宮原三郎(九大理) 帯状平均東西風による Hough 関数および等価深度の変化
- P331 田中太介・岩崎俊樹(東北大院理) 温位座標系を用いた Eliassen-Palm flux の季節変化
- P332 野口恵美・田宮兵衛(お茶の水女大) 北半球中緯度における傾圧不安定波にみられる季節変動

ポスターセッション [10月11日] 11:10 ~ 12:30

(は講演者を表す。講演者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：B会場

- P333 韓建宇・山崎孝治(北大院地球環境)他 2名 亜熱帯北太平洋西部のオゾン極小についてII
- P334 坂野井和代・村山泰啓(通総研)他 3名 アラスカ(65°N)におけるレイリーライダーと MF レーダーによる中間圏領域の温度と風速の同時観測
- P335 柴田清孝(気象研)・Charles McLandress(Toronto University) ハインス重力波スキームを使った実験(熱帯でのソース変化)
- P336 森明子・廣岡俊彦(九大理)他 1名 2001/02年冬季の成層圏循環と突然昇温
- P337 岩田幸良・広田知良(北海道農業研究センター) 冬期間に土壌が凍結する地帯の土壌凍結状態と水移動のモニタリング
- P338 鎌田義紀(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他 2名 対流圏中層に現れる温度逆転層のグローバルな時空間変動
- P339 石崎紀子(筑波大生命環境科学)・田中博(筑波大地球科学)他 1名 MRI・CGCM1のCO₂漸増実験データに見られるウォーカー循環、モンスーン循環、ハドレー循環の変動
- P340 Findy Renggono(BPPT, Indonesia)・橋口浩之(京大宙空電波)他 2名 赤道大気レーダーによる降水粒子の観測
- P341 荒木龍蔵(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他 2名 インドネシア・スルボンにおける雲・降水と気温・水蒸気高度分布との関係
- P342 高橋千陽・上田博(名大地球水循環) オーストラリアモンスーン季節内振動と大気海洋陸面応答による対流活動
- P343 Tri Handoko Seto・M.K.Yamamoto(京大宙空電波)他 3名 An Observational Study on Intraseasonal Variations with Equatorial Atmosphere Radar in West Sumatera, Indonesia
- P344 宮崎保彦(気象衛星センター) 熱帯低気圧発生の事例解析(4)
- P345 古沢進・伊藤久徳(九大理)他 1名 北太平洋西部における台風発生に関連する大規模場と海面温度
- P346 柴垣佳明(大阪電通大)・山中大学(神大自然)他 4名 MU レーダーで観測された台風 9426号(Orchid)のメソ α スケール風速場とそれに伴う降水雲のメソ β ・ γ スケールの特徴
- P347 植原孝浩(防災科研) 大気海洋結合モデルと大気大循環モデルにおいて再現された台風の比較(2)

司会：永戸久喜(気象研)

- P348 櫻井南海子・村田文絵(神戸大自然)他 5名 Sumatera 島における対流活動の日周期変化について(3rd Stage)
- P349 東永祥(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他 3名 熱帯陸面上大気の大気熱・水収支解析および乱流熱フラックスの定量的な見積もり
- P350 久保博司・三好勉信(九大理)他 1名 成層圏・中間圏 SAO の成因についての解析
- P351 Jingyang Chen・Ryuichi Shirooka(観測フロンティア)他 8名 Variation of Convection over the Tropical Western Pacific in the Intraseasonal Oscillation
- P352 鈴木靖・佐々木律子(気象協会)他 1名 局所的風況予測モデル LAWEPS
- P353 松本篤・岩坂泰信(名大)他 9名 タクラマカン砂漠の定常的な土壌粒子発生源としての可能性
- P354 山田丸・岩坂泰信(名大院環境)他 3名 日本海側の都市大気中に存在する個々の海塩粒子の分析:富山市での観測
- P355 長谷徹志・柴田隆(名大院環境)他 9名 敦煌における偏光ライダーと OPC データの比較
- P356 野口克行・今村剛(宇宙研)他 4名 ロケットゾンデを用いた上部成層圏におけるオゾン擾乱の観測
- P357 出生真・柴田清孝(気象研)他 2名 3次元化学輸送モデルにおける非地形性重力波パラメタリゼーションの相互比較-レイリー摩擦スキームとハインスのドップラースプレッドスキーム
- P358 池内和泉・古橋規尊(富士通エフ・アイ・ピー)他 5名 渦位予報システムおよび一酸化塩素濃度予報システムの構築
- P359 前田高尚(産総研)・今須良一(東大気候システム)他 2名 APEX E1/E2 期間の東アジア地域における大気中硫酸化物の分布と輸送経路(2)
- P360 森山茂・高原光子(日大生産工) 閉鎖生態系の動態に関する研究(その2) - 自律的開放系 -
- P361 吉田賀・河崎善一郎(大阪大院)他 1名 マイクロバーストと雷放電の統計的解析
- P362 平林由希子・鼎信次郎(東大生産研)他 2名 降水の変動特性が陸域水収支へ及ぼす影響についての数値実験
- P363 大鏡卓哉(小樽市青少年科学技術館) 北海道における上位層気候に関する調査結果

講演者索引

<A>

Abe Manabu(阿部学) P140
 Adhikari Mandira C166
 Akiyama Yukari(秋山祐佳里) D101
 Akiyoshi Hideharu(秋吉英治) B161
 Amamiya Yuriko(雨宮百合子) B114
 Aoki Isao(青木功) P133
 Aoki Kazuma(青木一真) B304
 Aoki Teruo(青木輝夫) B368
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) C151
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) C356
 Aoyagi Toshinori(青柳暁典) B358
 Aoyagi Yuji(青柳祐二) P131
 Arai Miki(荒井美紀) D362
 Arakawa Osamu(荒川理) P139
 Arakawa Takashi(荒川隆) A301
 Araki Kosuke(荒木孝輔) P121
 Araki Ryuzo(荒木龍蔵) P341
 Azuma Eisho(東永祥) P349

<C>

Cha Eunjeong(車恩貞) P161
 Chen Jingyang(陳敬陽) P351
 Chubachi Shigeru(忠鉢繁) B151

<D>

Daneva Diana B115
 Deushi Makoto(出牛真) P357
 Dhara Surendra C203

<E>

Eito Hisaki(永戸久喜) C164
 Ejiri Mitsumu(江尻省) B155
 Emori Seita(江守正多) A356
 Enomoto Takeshi(榎本剛) A351
 Enomoto Takeshi(榎本剛) D370

<F>

Findy Renggono P340
 Fudeyasu Hironori(筆保弘徳) C215
 Fujibe Fumiaki(藤部文昭) C106
 Fujita Mikiko(藤田実季子) P115
 Fujita Shinichi(藤田慎一) P134
 Fujiwara Masatomo(藤原正智) D353
 Fukamachi Tomohiro(深町知宏) D105
 Fukao Kazuhito(深尾一仁) P132
 Fukuhara Takaaki(福原隆彰) D111
 Fukui Tetsuo(福井哲夫) A309
 Fukushima Hirokazu(福島広和) P118
 Furusawa Susumu(古沢進) P345

<G>

Gamo Kyoka(蒲生京佳) B111
 Gamo Minoru(蒲生稔) A109
 Geng Biao(耿驥) C115
 Guan Zhaoyong(管兆勇) A167

<H>

Hagiwara Noriko(萩原典子) P137
 Hamada Junichi(浜田純一) C305
 Hamdi Saipul B112
 Han Jianyu(韓建宇) P333
 Hanafusa Tatsuo(花房龍男) D308
 Hara Masahiro(原昌弘) A310
 Hara Masayuki(原政之) P122
 Hara Yukari(原由香里) B306
 Harjana Teguh C306
 Hasegawa Akira(長谷川聡) A208
 Hasegawa Shuichi(長谷川就一) P322
 Hashimoto Daisuke(橋本大輔) P123
 Hayasaki Masamitsu(早崎将光) D108
 Hayashi Hironori(林宏典) D211
 Hayashi Taiichi(林泰一) A115
 Hirabayashi Yukiko(平林由希子) P362
 Hirano Akira(平野映良) C204
 Hirano Takashi(平野高司) P307
 Hirasawa Masanobu(平沢正信) P306

Hirasawa Naohiko(平沢尚彦) A202
 Hirata Ryuichi(平田竜一) A108
 Hirota Tomoyoshi(広田知良) D207
 Hizuka Kiyomitsu(肥塚清光) P310
 Honda Meiji(本田明治) A205
 Hori Masahiro(堀雅裕) P327
 Hosaka Masahiro(保坂征宏) A171
 Hoshino Shunsuke(星野俊介) C208
 Hozumi Yuu(穂積祐) D371

<I>

Ichinose Kazuyoshi(市瀬和義) P315
 Ichyanagi Kimpei(一柳錦平) P143
 Iga Keita(伊賀啓太) D351
 Ikeuchi Izumi(池内和泉) P358
 Imamura Takeshi(今村剛) D364
 ImanTahuid Yudi A154
 Imaoka Keiji(今岡啓治) P110
 Inatsu Masaru(稲津将) D367
 Inoue Jun(猪上淳) A215
 Inoue Jun(猪上淳) D302
 Inoue Makoto(井上誠) A104
 Inoue Toshiro(井上豊志郎) C207
 Irie Hitoshi(入江仁士) B116
 Ishida Sachinobu(石田祐宣) P320
 Ishidoya Shigeyuki(石戸谷重之) B166
 Ishiguro Takahiko(石黒貴彦) B367
 Ishii Kazuko(石井和子) P152
 Ishii Masayoshi(石井正好) A363
 Ishii Shoken(石井昌憲) P105
 Ishijima Kentaro(石島健太郎) B165
 Ishikawa Yuki(石川由紀) A112
 Ishimoto Hiroshi(石元裕史) P112
 Ishizaki Noriko(石崎紀子) P339
 Ishizuka Masahide(石塚正秀) B352
 Islam Nazrul(Islam Nazrul) C167
 Itano Toshihisa(板野稔久) A214
 Ito Akihiko(伊藤昭彦) P308
 Itoh Hisanori(伊藤久徳) D363
 Itsui Minoru(伍井稔) C158
 Iwasaki Suginori(岩崎彬紀) P125
 Iwashima Tatsuyuki(岩崎彬也) A172
 Iwata Yukiyo(岩田幸良) P337

<K>

K.Krishna Reddy C111
 Kachi Misako(可知美佐子) D206
 Kadosaki Gaku(門崎学) P109
 Kagawa Akiko(香川晶子) B159
 Kagawa Masako(香川雅子) B102
 Kai Kenji(甲斐憲次) B353
 Kajino Mizuo(梶野瑞王) B104
 Kamata Yoshinori(鎌田義紀) P338
 Kamiakito Yuko(上明戸優子) P324
 Kaneko Hideki(金子秀毅) A203
 Kaneko Kazama(金子和真) D162
 Kaneyasu Naoki(兼保直樹) B106
 Kanno Hiromitsu(菅野洋光) A101
 Karumuri Ashok A166
 Kasai Yasuko(笠井康子) B154
 Kashida Akira(榎田爽) P160
 Kato Kuranoshin(加藤内蔵進) C360
 Kato Teruyuki(加藤輝之) C110
 Kato Yoshiki(加藤美樹) A159
 Katoh Makoto(加藤誠) C156
 Katou Jun(加藤潤) B204
 Katsumata Masaki(勝俣昌己) C362
 Kawabata Takuya(川畑拓矢) P304
 Kawahara Makoto(川原誠) P318
 Kawahara Taku(河原卓) B164
 Kawahira Kohji(川平浩二) D154
 Kawai Yoshimi(川合義美) A362
 Kawamoto Haruko(川本温子) C165
 Kawamoto Kazuaki(河本和明) A111
 Kawamoto Nozomi(河本望) D152
 Kawamura Ryuichi(川村隆一) A165
 Kawano Keiko(川野圭子) P330

- | | | | |
|---------------------------|------|----------------------------|------|
| Kawatani Yoshio(河谷芳雄) | D155 | Murata Fumie(村田文絵) | C308 |
| Kayahara Takahiro(栢原孝浩) | P347 | Murayama Shohei(村山昌平) | B168 |
| Kazaoka Ryo(風岡亮) | C172 | Murayama Yasuhiro(村山泰啓) | D157 |
| Kiguchi Masashi(木口雅司) | A153 | Murazaki Kazuyo(村崎万代) | A162 |
| Kikuchi Nobuyuki(菊地信行) | B208 | Muroi Chiashi(室井ちあし) | A304 |
| Kim Yoon-Suk | B360 | | |
| Kimura Keiji(木村圭司) | A107 | <N> | |
| Kimura Noriaki(木村詞明) | A213 | Nagahama Tomoo(長浜智生) | B157 |
| Kimura Toshiyoshi(木村俊義) | P323 | Nagai Tomohiro(永井智広) | B356 |
| Kinoshita Nobuyuki(木下宣幸) | P321 | Nagatani Tetsuji(長谷徹志) | P355 |
| Kita Kazuyuki(北和之) | B162 | Naito Yoko(内藤陽子) | D153 |
| Kitabatake Naoko(北畠尚子) | C214 | Nakagawa Kiyotaka(中川清隆) | D303 |
| Kitamura Kenzo(北村兼三) | P309 | Nakai Sento(中井専人) | C152 |
| Kitamura Yuji(北村祐二) | D352 | Nakajima Hideaki(中島英彰) | B156 |
| Kitoh Akio(鬼頭昭雄) | A170 | Nakajima Kensuke(中島健介) | C301 |
| Kiyohara Yasutomo(清原康友) | P314 | Nakajima Kensuke(中島健介) | C302 |
| Kobayashi Chiaki(小林ちあき) | A358 | Nakajima Takashi(中島孝) | B212 |
| Kobayashi Fumiaki(小林文明) | C162 | Nakamura Kenji(中村憲司) | B170 |
| Kobayashi Fumiaki(小林文明) | C163 | Nakamura Takasumi(中村貴純) | D359 |
| Kobayashi Hideki(小林秀樹) | P311 | Nakanowatari Takuya(中野渡拓也) | P138 |
| Kobayashi Minoru(小林実) | B365 | Nakao Ryouma(仲尾龍馬) | P313 |
| Kobayashi Takahisa(小林隆久) | D202 | Nakao Tetsuya(中尾哲弥) | D355 |
| Kodama Yasumasa(児玉安正) | C352 | Nakata Hisakazu(仲田久和) | A201 |
| Koike Katsuyuki(小池克征) | D201 | Nakata Junko(中田淳子) | P147 |
| Kosaka Yosuke(小坂洋介) | D368 | Nakazato Masahisa(中里真久) | C108 |
| Kozawa Akira(小澤晃) | P155 | Nakazato Masahisa(中里真久) | P106 |
| Kuba Naomi(久芳奈遠美) | B209 | Nakazawa Tetsuo(中澤哲夫) | C354 |
| Kubo Hiroshi(久保博司) | P350 | Nakazawa Tetsuo(中澤哲夫) | D209 |
| Kubota Hisayuki(久保田尚之) | C364 | Nasuno Tomoe(那須野智江) | C367 |
| Kubota Takuji(久保田拓志) | P156 | Negita Shinji(棚宜田真慈) | A105 |
| Kudo Makoto(工藤誠) | D306 | Niinura Noriko(新村典子) | B105 |
| Kudo Rei(工藤玲) | P120 | Ninomiya Kozo(二宮洗三) | C153 |
| Kuji Makoto(久慈誠) | D204 | Ninomiya Kozo(二宮洗三) | C359 |
| Kurihara Kazuo(栗原和夫) | A103 | Nishi Noriyuki(西憲敬) | C307 |
| Kurita Naoyuki(栗田直幸) | A110 | Nishigaki Tsuguhito(西垣語人) | P126 |
| Kuroda Yuhji(黒田友二) | A209 | Nishikawa Toru(西川徹) | P326 |
| Kurosaki Yasunori(黒崎泰典) | B305 | Nishita Chiharu(西田千春) | B101 |
| Kusunoki Kenichi(楠研一) | C160 | Nishizawa Tomoaki(西澤智明) | B205 |
| Kusunoki Kenichi(楠研一) | C161 | Nodzu Masato(野津雅人) | A151 |
| Kuwagata Tsuneo(桑形恒男) | A106 | Noguchi Emi(野口恵美) | P332 |
| | | Noguchi Katsuyuki(野口克行) | P356 |
| <M> | | Nohara Daisuke(野原大輔) | A311 |
| Mabuchi Kazuo(馬淵和雄) | A161 | Nomura Mitsuharu(野村光春) | C211 |
| Maeda Takahisa(前田高尚) | P359 | Nomura Shigeyuki(野村茂行) | P144 |
| Maki Masayuki(真木雅之) | P101 | | |
| Mano Yuzo(真野裕三) | B210 | <O> | |
| Mano Yuzo(真野裕三) | B211 | Oasa Yumiko(大朝由美子) | P325 |
| Mashiko Wataru(益子渉) | P303 | Oda Masahito(小田昌人) | P328 |
| Masui Yukio(升井幸男) | D166 | Ogawa Hiroko(小川寛子) | D107 |
| Matsuki Atsushi(松木篤) | P353 | Ogi Masayo(小木雅世) | A211 |
| Matsumi Yutaka(松見豊) | B152 | Ogino Shinya(荻野慎也) | A152 |
| Matsumura Shinji(松村伸治) | A364 | Ogura Tomoo(小倉知夫) | P151 |
| Matsumura Takayuki(松村崇行) | A303 | Ohashi Yukitaka(大橋唯太) | D305 |
| Matsushima Kazuhiro(松島和宏) | D356 | Ohdaira Tomoaki(大平智章) | P135 |
| Mikami Masaο(三上正男) | B351 | Ohfuchi Wataru(大淵濟) | A352 |
| Mimura Kazuo(三村和男) | A210 | Ohgane Takuya(大鐘卓哉) | P363 |
| Mitani Tsutomu(三谷勉) | D307 | Ohno Yuichi(大野裕一) | C210 |
| Miura Jiro(三浦二郎) | B103 | Ohtake Hideaki(大竹秀明) | P116 |
| Miura Kazuhiko(三浦和彦) | B107 | Oishi Tetsuya(大石徹也) | P148 |
| Miura Yuriko(三浦優利子) | P312 | Okada Takuya(岡田拓也) | D164 |
| Miwa Takeshi(三輪剛史) | P129 | Okamoto Hajime(岡本創) | B207 |
| Miyakoshi Noriyuki(宮腰紀之) | A308 | Okamura Osamu(岡村修) | P127 |
| Miyasaka Takafumi(宮坂貴文) | A163 | Oku Yuichiro(奥勇一郎) | A155 |
| Miyazaki Yasuhiko(宮崎保彦) | P344 | Onodera Saburo(小野寺三郎) | D210 |
| Miyoshi Yasunobu(三好勉信) | D151 | Oonuki Syuuhei(大貫修平) | D301 |
| Mizuno Yusuke(水野祐介) | B363 | Orikasa Narihiro(折笠成宏) | C159 |
| Mochida Michihiro(持田隆宏) | B366 | Osada Kazuo(長田和雄) | B108 |
| Mochizuki Takashi(望月崇) | A360 | Ose Tomoaki(尾瀬智昭) | A168 |
| Mori Akiko(森明子) | P336 | Oshima Kazuhiro(大島和裕) | P158 |
| Mori Shuichi(森修一) | C304 | Owada Haruki(大和田春樹) | A113 |
| Mori Shuichi(森修一) | C355 | Owada Michio(大和田道雄) | D102 |
| Morino Yu(森野悠) | B171 | Oyamatsu Masayuki(親松昌幸) | C310 |
| Moriyama Shigeru(森山茂) | P360 | | |
| Motoya Ken(本谷研) | P141 | <P> | |
| Mukougawa Hitoshi(向川均) | D361 | Park Chanbong | D203 |
| Murachi Tetsunori(村地哲徳) | P108 | Peng Xindong(彭新東) | A302 |
| Murakami Masataka(村上正隆) | C155 | | |
| Murakami Shigenori(村上茂教) | A366 | <S> | |
| Murata Akihiko(村田昭彦) | C213 | Saigusa Nobuko(三枝信子) | B167 |

- | | | | |
|---------------------------|------|------------------------------|------|
| Saito Kazuo(齊藤和雄) | A305 | Takeuchi Yoshitaka(竹内慶高) | P113 |
| Saito Naoko(齋藤尚子) | B113 | Tagigawa Masayuki(滝川雅之) | B173 |
| Sakai Kotaro(酒井孝太郎) | A365 | Tanaka Daisuke(田中大介) | P331 |
| Sakai Tetsu(酒井哲) | B357 | Tanaka Hiroshi(田中博) | A207 |
| Sakamoto Kei(坂本圭) | C212 | Tanaka Taichu(田中泰宙) | B307 |
| Sakamoto Kohei(坂本晃平) | C113 | Terao Toru(寺尾徹) | A114 |
| Sakamoto Naomi(坂本尚美) | P142 | Terao Yukio(寺尾有希夫) | B158 |
| Sakanoi Kazuyo(坂野井和代) | P334 | Teshiba Michihiro(手柴充博) | P124 |
| Sakurai Namiko(櫻井南海子) | P348 | Tomine Kikuro(遠峰菊郎) | D208 |
| Sanpe Takeaki(三瓶岳昭) | D109 | Tomita Hirofumi(富田浩文) | A357 |
| Sasaki Hidetaka(佐々木秀孝) | P149 | Tomita Tomohiko(富田智彦) | A169 |
| Sasaki Kaori(佐々木華織) | A102 | Toyota Takenobu(豊田威信) | P150 |
| Sasaki Masayuki(佐々木政幸) | D205 | Tsubonuma Nobuyuki(坪沼宣行) | B364 |
| Sasaki Ritsuko(佐々木律子) | P352 | Tsubota Yukimasa(坪田幸政) | D160 |
| Sasaki Taichi(佐々木太一) | A157 | Tsushima Yoko(對馬洋子) | A359 |
| Sasaki Yoshiaki(佐々木佳明) | D161 | Tsushin·Housoukikou(通信·放送機構) | P319 |
| Sato Naoki(佐藤尚毅) | D104 | <U> | |
| Sato Naoki(佐藤尚毅) | D366 | Uematsu Akihisa(植松明久) | P130 |
| Sato Noboru(佐藤昇) | B203 | Ueno Mitsuru(上野充) | C303 |
| Sato Noboru(佐藤昇) | C168 | Umemoto Yasuko(梅本泰子) | P128 |
| Sato Shinichiro(佐藤慎一郎) | B206 | Uno Go(宇野剛) | D304 |
| Sato Tomonori(佐藤友徳) | P154 | Ushiyama Tomoki(牛山朋来) | C105 |
| Sato Yoshiaki(佐藤芳昭) | A307 | <W> | |
| Satoh Masaki(佐藤正樹) | A306 | Wada Eiko(和田英子) | C169 |
| Satomura Takehiko(里村雄彦) | C366 | Wagatsuma Yukiko(我妻ゆき子) | D158 |
| Sawada Masahiro(沢田雅洋) | D354 | Wang Zifa(王自発) | B309 |
| Seiki Ayako(清水亜矢子) | C209 | Watanabe Akira(渡辺明) | C154 |
| Seino Naoko(清野直子) | B308 | Watanabe Hiromichi(渡辺啓倫) | C102 |
| Seko Hiromu(瀬古弘) | C206 | Watanabe Masahiro(渡部雅浩) | D369 |
| Seko Hiromu(瀬古弘) | P302 | Watanabe Yohei(渡部洋平) | A212 |
| Seto TriHandoko | P343 | Worthington Richard | P111 |
| Shibagaki Yoshiaki(柴垣佳明) | C205 | Wu Peiming(伍培明) | A156 |
| Shibagaki Yoshiaki(柴垣佳明) | P346 | <Y> | |
| Shibata Kiyotaka(柴田清孝) | P335 | Yagai Isamu(谷貝勇) | A355 |
| Shige Shoichi(重尚一) | C357 | Yamada Hiroyuki(山田広幸) | C114 |
| Shimizu Shuji(清水収司) | C353 | Yamada Maromu(山田丸) | P102 |
| Shimura Kazunori(志村和紀) | C101 | Yamada Maromu(山田丸) | P354 |
| Shinoda Masato(篠田雅人) | B301 | Yamagishi Takateru(山岸孝輝) | P153 |
| Shinoda Taro(篠田太郎) | P145 | Yamagishi Yonejiro(山岸米二郎) | C171 |
| Shiraishi Kouichi(白石浩一) | B355 | Yamaguchi Kazuki(山口和貴) | A354 |
| Shitaba Toshiaki(下羽利明) | D159 | Yamamori Miho(山森美穂) | D156 |
| Shoji Akiko(小司晶子) | A361 | Yamamoto Akira(山本哲) | C107 |
| Shoji Yoshinori(小司禎教) | P104 | Yamamoto Akira(山本哲) | D163 |
| Sigmat Japan(シグメットジャパン) | P107 | Yamamoto Kentaro(山本健太郎) | A206 |
| Sobajima Akira(傍島明) | B110 | Yamamoto Masaru(山本勝) | P117 |
| Sone Yohei(曾根洋平) | D358 | Yamamoto Masayuki(山本真之) | C309 |
| Sonoi Yasuo(園井康夫) | C103 | Yamamoto Saki(山本さき) | P136 |
| Sugawara Hirofumi(菅原広史) | P317 | Yamamoto Takashi(山本享) | B302 |
| Sugawara Satoshi(菅原敏) | B169 | Yamane Shozo(山根省三) | A204 |
| Sugimoto Atsuko(杉本敦子) | A158 | Yamane Yusuke(山根悠介) | P119 |
| Sugimoto Nobuo(杉本伸夫) | B303 | Yamasaki Masanori(山岬正紀) | C368 |
| Sugita Takafumi(杉田考史) | B160 | Yamashita Katsuya(山下克也) | B361 |
| Sumi Akimasa(住明正) | C365 | Yamazaki Akihiro(山崎明宏) | B359 |
| Suto Mihoko(須藤美穂子) | P305 | Yamazaki Atsushi(山崎淳) | B109 |
| Suzuki Hiroto(鈴木博人) | P159 | Yamazaki Mitsuru(山崎充) | P316 |
| Suzuki Shinichi(鈴木真一) | D103 | Yamazaki Nobuo(山崎信雄) | C202 |
| <T> | | Yasui Motoaki(安井元昭) | B354 |
| Tabata Dan(田畑弾) | P157 | Yasunaga Kazuaki(安永敦明) | B172 |
| Tagami Hirotaka(田上浩孝) | C112 | Yasunaka Sayaka(安中さやか) | A164 |
| Takagi Masahiro(高木征弘) | D357 | Yi Sanghun(李相勳) | P163 |
| Takahara Hiroaki(高原宏明) | P162 | Yoneyama Kunio(米山邦夫) | C363 |
| Takahashi Chiharu(高橋千陽) | P342 | Yoshida Akira(吉田聡) | D110 |
| Takahashi Kenshi(高橋けんし) | B153 | Yoshida Kazumasa(吉田一全) | C157 |
| Takahashi Kiyotoshi(高橋清利) | C201 | Yoshida Satoru(吉田智) | P311 |
| Takahashi Nobuto(高橋信人) | P146 | Yoshida Yasuhiro(吉田保衡) | D165 |
| Takahashi Tsuneya(高橋庸哉) | B201 | Yoshikane Takao(吉兼隆生) | A160 |
| Takahashi Tsuneya(高橋庸哉) | B202 | Yoshino Jun(吉野純) | C104 |
| Takahashi Tsutomu(高橋勲) | C351 | Yoshioka Mayumi(吉岡真由美) | A353 |
| Takai Hiroshi(高井博司) | D106 | Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) | C109 |
| Takaishi Tomoharu(高石知治) | P114 | Yumoto Michiaki(湯本道明) | C216 |
| Takaki Toshiaki(高木敏明) | P301 | <Z> | |
| Takaya Koutarou(高谷康太郎) | D365 | Zhang Daizhou(張代洲) | B362 |
| Takaya Yoshimasa(高谷美正) | P103 | Zhou Libo(周立波) | B163 |
| Takayabu Yukari(高薮緑) | C358 | | |
| Takeda Shigeo(武田重夫) | P329 | | |
| Takehiro Shimichi(竹広真一) | D360 | | |
| Takemi Tetsuya(竹見哲也) | C170 | | |
| Takemi Tetsuya(竹見哲也) | C361 | | |